

2016 1
WINTER
No.438

かごしま トラック情報

Kagoshima truck information

安全の証し
Gマーク。

国土交通省が推進するGマーク認定制度！
Gマークは安全に優れた運送事業者です。

主な
内容

❁ 巻頭

新年の挨拶

❁ TOPICS

平成27年度安全性優良事業所 新規26
事業所・更新59事業所が認定

平成28年度安全性評価事業申請に向けた
説明会

❁ 第5回（平成27年度）霧島市10万本植林
教室に参加しました

など

お知らせ掲示板

国土交通省認定NASVAガイドラインセ
ミナー等のお知らせ
平成27年度整備管理者研修のご案内

❁

鹿児島マラソン2016開催に伴う交通規制
のお知らせ

降積雪期における輸送の安全確保の徹底
のお願い

など

情報ボックス

平成27年度物流セミナーのご案内

原価意識向上実務セミナー・契約書締結
等書面化推進セミナーのご案内

運行管理者試験対策事前講習会のご案内

平成27年度中小企業大学校講座受講促
進助成制度のご案内

幹部・管理者研修のご案内

など

公益社団法人

鹿児島県トラック協会 <http://www.kta.jp>

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4-15 ☎099-261-1167 E-mail / kentora@kta.jp

年末年始の輸送等 安全総点検

平成27年
12月10日(木) ▶ 平成28年
1月10日(日)

- 安全確保及び事故防止の徹底!
- 安全意識の向上!
- テロ防止対策の総点検!
- 新型インフルエンザ対策の徹底!



かごしま トラック情報

2016 1
WINTER
No.438

CONTENTS

巻頭

新年のご挨拶(公益社団法人鹿児島県トラック協会長)	2
年頭所感(公益社団法人全日本トラック協会長)	4
年頭の辞(鹿児島県知事)	6
年頭の辞(九州運輸局長)	7
年頭の辞(九州運輸局鹿児島運輸支局次長)	8
年頭の辞(鹿児島労働局長)	9
年頭の辞(鹿児島県警察本部交通部長)	10
新年の挨拶(支部長・部会長)	11

TOPICS

平成27年度安全性優良事業所 新規26事業所・更新59事業所が認定	16
平成28年度安全性評価事業申請に向けた説明会	18
第5回(平成27年度)霧島市10万本植林教室に参加しました	
物流出前講座(鹿児島県立鹿屋農業高等学校)	19
平成27年度第2回トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会	

お知らせ掲示板

国土交通省認定NASVAガイドラインセミナー等のお知らせ	20
平成27年度整備管理者研修のご案内	21
鹿児島マラソン2016開催に伴う交通規制のお知らせ	22
降積雪期における輸送の安全確保の徹底のお願い	24
事業用自動車事故調査報告書に係る事故の再発防止対策に対する取り組みのお願い	
下請取引の適正化及び下請事業者への配慮等について	25
「トラック運送業界の景況感(平成27年7月～9月期)」の調査報告	
冬季の省エネルギー対策	26
交通遺児支援「募金型自動販売機」設置のお願い	27

情報ボックス

平成27年度物流セミナーのご案内	28
原価意識向上実務セミナー・契約書締結等書面化推進セミナーのご案内	30
運行管理者試験対策事前講習会のご案内	32
平成27年度中小企業大学校講座受講促進助成制度のご案内	34
幹部・管理者研修のご案内	33
第39回(4期)近代化基金融資申込みのご案内	35
平成27年度助成金申請状況のお知らせ	36
ドライブレコーダ導入促進助成事業に係る対象機器追加のお知らせ	37

支部・部会だより

支部・部会開催状況	38
支部1月行事予定	40

適正化だより

平成27年度11月 巡回指導結果	41
------------------	----

資料データ

過積載違反の取締り状況・苦情内容	42
鹿児島県内における交通事故の発生状況	43
軽油価格調査報告	44

協会の動き(平成27年12月)

協会活動	45
------	----

お知らせカレンダー(平成28年1月)

陸災防情報	
荷主等の事業場の担当者への安全衛生教育講習会	48
ストレスチェック制度施行への対応等メンタルヘルス対策のお願い	49
平成27年度年末・年始労働災害防止強調運動	50
鹿児島県内における労働災害の発生状況	51

コミュニティ広場

第47回全国トラックドライバー・コンテスト下村選手の感想	52
------------------------------	----



新年のご挨拶

公益社団法人鹿児島県トラック協会

会長 黒木 一正

新年あけましておめでとうございます。

平成 28 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭にあたり、会員の皆様には、大変厳しい経営環境の中、安心・安全な輸送サービスの提供という役割を果たすべく努力されておられることに深く敬意を表します。本年も、会員皆様の事業繁栄を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨今のわが国の経済は、緩やかに景気回復基調にあると言われ続けておりましたが、実体経済は足踏み状態が続いておるように思われますし、GDP は 2015 年 4～6 月・7～9 月と 2 四半期連続のマイナス成長となっていて、今後の個人消費や輸出の持ち直しに期待するところが大きいようで、まだ時間がかかるのではないのでしょうか。また、業種・業態によって格差が出てきつつあるのではないかと懸念するところであります。

運送業界にとっても燃料価格は一段落しているとはいうものの、物量は伸び悩んでおり、また、ドライバー不足が深刻になってきており、あわせて安全対策や環境対策も重要でありますし、まだまだ課題は山積していると思います。

こうした中、全ト協と全ト政連の共催で

昨年 11 月に全国各県の県ト協の幹部役員が一堂に会し、「地域社会と国民生活を守るため・平成 27 年度トラック業界の要望を実現する会」を開催し、自由民主党トラック輸送振興議員連盟と公明党トラック問題議員懇話会に所属する国会議員約 150 名に対して、

1. 高速道路料金における大口・多頻度割引最大 50% の継続
2. 軽油引取税を含む自動車関係諸税の軽減
3. 自動車税における環境性能課税（環境性能割）の軽減

を最重点要望事項として要望いたしました。

こうした動きに対して、自民党の ITS 推進・道路調査会において、道路予算の確保に関する決議では「現下の経済情勢を踏まえ、ETC2.0 を活用して大口・多頻度割引を継続」する方針が確認され、補正予算の編成に向け、実現を求めていくことになりました。50% 割引の恒久化を切に願うところであります。

また、平成 27 年 4 月 3 日に閣議決定された「労働基準法の一部を改正する法律案」に規定されている割増賃金引き上げの施行にあっては、中小企業において特に長時間労働者比率が高い業種を中心に、関係行政機関や業界団体等との連携のも

と、長時間労働の抑制に向けた環境整備を進める必要がある、という経緯のもとに「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」が中央と地方(47都道府県)に設置され、これまで2回の協議会が開かれました。

まずは、トラック輸送状況の実態調査を行い、荷主団体・企業に対して現状の理解を進めているところであります。取引環境・労働時間の改善に向けて、今後、対策の検討、パイロット事業の実施・検証、ガイドラインの策定・普及、普及・定着の促進、というロードマップで、平成30年度まで開催される予定であります。鹿児島県は、長距離輸送も多いため、色々な問題を抱えています。労働時間短縮はもとより、取引環境の改善をなんとしてでも実現したいものであります。

さて、県ト協の今年度の事業の中で、ひとつの目玉でもあった「トラックの日フェスティバル2015」は、去る10月25日にマリポート鹿児島において盛大に開催され、多くの来場者にお越しいただきました。業界のPRになったと思います。青運会の皆さんに多大なるご協力をいただきました。大変感謝いたしております。次年度以降も同様な取組みを行って参りたく存じます。

また、今年度から始めたものとして、「鹿児島トラックガール」の発足と「Gマークラッピングトラック」の出発式もございました。毎年開催していますベストエコドライブ

コンテストにも女性部門を設け、「鹿児島トラックガール」の皆さんも参加していただきました。今後のトラックガールの皆さんのご活躍をご期待申し上げます。

Gマークラッピングトラックは、本年度は3台のトラックにラッピングし、県内県外問わず、走る広告塔として県内3社にお願いしたところであります。今後も毎年増やしていく計画であります。荷主や一般消費者及び地域社会への認知度アップと業界のイメージアップに繋がると思います。

また、小学生を対象とした「物流出前講座」も始まりました。従前の「環境出前講座」、高校生向けの「物流出前講座」ともども、将来、運送業界で働きたいと思う生徒の掘り起しには大変重要な事と思えます。さらに広げて参りたいと思えます。

平成27年度の事業を粛々と執行しながら、年明け早々には28年度の予算編成に取りかかる時期となります。今年度の活動の進捗状況をみて、継続するもの、見直すもの、新しく取り入れるもの等、議論しながら、公益社団法人として真に「県民のための協会」また「会員のための協会」を目指して、役職員一同最善を尽くして参りますので、会員の皆様方の更なるご理解・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝・ご多幸と会員事業者のご発展をお祈り申し上げて、年頭の挨拶といたします。



年頭所感

公益社団法人全日本トラック協会

会長 星野 良三

平成28年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年一年を振り返りますと、燃料価格が下がり経営の安定化が図られましたが、アベノミクス効果による人手不足が強まり、労働条件が他産業と比べ劣るトラック運送業界ではドライバーの確保が課題となりました。

このような中、国土交通省及び厚生労働省のご指導により「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」が中央及び47都道府県のすべてに設置され、荷主の参画を得て手待ち時間の解消や付帯業務の有償化方策等を協議することとなりました。我が業界にとり画期的なことであり全ト協はもとより地方協会の総力を挙げて取り組んでまいります。

一方、高卒新卒者の採用にとって障害となっていた中型免許問題は、道路交通法の改正により「準中型免

許」が創設されることとなって解決され、平成29年の出来るだけ早期の施行をお願いしているところです。高卒新卒者の採用を増やすべく、全ト協ではリクルートの体制整備や免許取得費の補助などを行ってまいります。

次に年末の税制、予算の要望について申し上げます。

最大の課題でありました高速道路料金最大割引50%の継続問題は自民党トラック輸送振興議員連盟及び公明党トラック問題議員懇話会、さらに自民党ITS推進・道路調査会の先生方のお力により、ETC 2.0の搭載を前提に1年間延長されました。この装置については物流の効率化に資するものであり、高速道路保有機構の1台1万円の補助に加え全ト協も助成する方向で検討してまいります。

自動車取得税の廃止に伴う自動車税の環境性能課税化については要望がほぼ認められ、エコカー減税による

自動車取得税の税率 1.2% が 1% に軽減されるなど 2 割程度の負担軽減となります。

また、平成28年度予算では温暖化対策税引き上げに伴い、エネルギー対策特別会計のトラック関係予算が 20 億円上積みされ 80 億円となり、新たに総重量 36 トンの大型シャーシ等が補助されることとなりました。

以上の成果は昨年11月の「要望を実現する会」に結集された全国の会員の皆様のお力によるものと改めて感

謝申し上げるものであります。

さて、私は平成23年に会長に就任以来、地方トラック協会に直接出向き、会長、副会長、事務局の皆様から地方が抱える諸課題について生の声を聴き、全ト協の業務運営に反映させてまいりました。本年もトラック運送業界が抱える課題の解決に向け皆様の先頭に立って全力を挙げてまいりますこととお誓いして、私の年頭のご挨拶といたします。





年頭の辞

鹿児島県知事

伊藤 祐一郎

平成 28 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人鹿児島県トラック協会の皆様には、日頃から本県交通政策の推進に多大な御理解・御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、皆様のトラック運送事業は、県民の日常生活を支えるライフラインとして、本県の産業・経済の振興に大きな役割を果たされるとともに、緊急時にはトラックの機動力を活かして緊急支援物資の輸送を行っていただくなど、その役割はますます重要になってきています。

我が国経済は、企業収益は改善しているものの、設備投資や賃金は十分には回復しておらず、海外経済の先行きなどにより下振れするリスクも懸念されています。また、トラック運送業界は、貨物輸送量の伸び悩み、原油価格の変動や円安などによる不安定な燃料価格、ドライバーの高齢化や若年労働力不足など様々な課題を抱えており、厳しい状況が続いています。

こうした中、貴協会におかれましては、本県の「運輸事業振興助成補助金」を活用しながら、低公害車等の導入支援や、環境意識高揚のための研修会の実施など、環境対策に関する取組を積極的に展開されるとともに、安全意識や運転技能向上のための助成、物流効率化に向けた調査研究に取り組まれるなど、様々な課題に的確に対応されており、県としましても貴協会の役割に大いに期待しているところです。

トラック運送における物流の効率化等を

図るためには、高速交通ネットワークの形成が不可欠であります。本県の道路整備は全国に比べ今なお立ち後れていることから、県としましては、高規格幹線道路である東九州自動車道や南九州西回り自動車道の整備促進を、国に対し強く要請するとともに、本県の道路整備に必要な予算が確実に措置されるよう、効率的で維持可能な長距離物流ルート確保のための交通ネットワークの必要性を十分説明してまいりたいと考えております。

また、都城志布志道路や南薩縦貫道など地域高規格道路についても、一日も早い完成に努めてまいります。

我が国が日本経済の再生や、本格的な人口減少、超高齢社会の到来など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えている中で、21 世紀の新たな未来を創造するため、時代の状況変化に的確に対応しながら、「すべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、引き続き「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、今後とも、県政に対する皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人鹿児島県トラック協会のますますの御発展並びに会員の皆様の御健勝・御活躍を祈念いたしますとともに、新しい年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。



年頭の辞

九州運輸局長

竹田 浩三

新年明けましておめでとうございます。

我が国の日本経済は、11月の月例経済報告によりますと、「景気はこのところ一部に弱さも見られるものの、緩やかな回復基調が続いている。」とのことであり、昨年の訪日外国人旅行者数も一昨年に引き続き過去最高を記録し、消費に好影響をもたらしています。こうした中、運輸事業では軽油価格の下落という好材料もありましたが、労働力不足や人件費の高騰もあって、経営環境は依然として厳しい状況です。また、人口の急減・超高齢化に直面している我が国においては、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生することが喫緊の課題として求められています。

平成28年の年頭に当たり、このような経済社会環境を踏まえつつ、九州の運輸行政に関する抱負を述べさせていただきます。

まず、国民の安全・安心の確保を使命とする国土交通行政にとって、とりわけ輸送における安全・安心の確保は、最も基本とすべきものです。輸送への信頼を維持するため、経営トップから現場までが一体となり、輸送の安全・安心の確保に関する積極的な取組を期待するとともに、九州運輸局としましても、運輸安全マネジメントや監査の実施等を通じて、安全の確保に努めてまいります。

次に、交通分野に係る環境問題への対応につきましては、「環境行動計画」に基づき、低公害車や次世代自動車の普及促進、運輸事業者のグリーン経営、エコ通勤、エコドライブの推奨、関係企業、交通事業者、地方自治体等と連携して取り組んでまいります。

また、物流につきましては、「総合物流施策大綱」の指針に沿って、関係する皆様のご協力を得ながら、モーダルシフト、災害時の

支援物資物流、地域における持続可能な物流ネットワークの構築に向けた輸送システムの検討などの施策を推進し、産業活動と国民生活を支える効率的な物流の実現、更なる環境負荷の低減、安全・安心の確保に向けて引き続き取組を進めてまいります。

続いて、トラック事業についてです。

トラック事業につきましては、燃料サーチャージ制の導入促進、契約内容の書面化などの適正取引の推進や輸送の安全確保の取組を進めてまいりましたが、これらの取組に加えて労働環境改善が大きく注目されています。このため、運送事業者だけでなく荷主や関係機関をメンバーとする取引環境・労働時間改善のための協議会を各県において立ち上げました。今年も本協議会で実りある議論ができるように一層努力してまいります。

また、トラックドライバー確保につきましては、これらに加え、中継輸送の促進やトラガール促進プロジェクトサイトを通じた情報発信等により、女性の活躍や若者の運送業界への入職を促進してまいります。

Gマーク事業所に対する運輸局長表彰は昨年より始まりましたが、本年も多くの事業所に輸送の安全を推進していただき、表彰式のお会いできることを楽しみにしております。

国土交通行政は地域の皆様の生活と切り離すことができないものであり、九州運輸局は「運輸と観光で九州の元気を創ります」をキャッチフレーズに、職員一丸で、社会・経済情勢の変化に対応した課題、要請等に的確に取り組んでまいり所存です。本年も、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

結びに九州の発展と皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして新年のご挨拶と致します。



年頭の辞

九州運輸局
鹿児島運輸支局次長

峯 比呂志

新年あけましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の我が国の景気は、一昨年4月の消費税増税後の落ち込みから緩やかな回復基調にあると言われてきましたが、地方における景況感は、各種統計調査のプラス数字ほどには、実感が湧かない状況かと思われま

す。経済状況の回復過程につきましては、今後も注視していく必要がありますが、本年は、確実な国内経済の回復とともに、鹿児島県の地域経済が明るくなることを期待しております。

現在のトラック運送事業を取り巻く環境は、国内輸送量の伸び悩み、深刻な運転者不足等の影響により、依然として厳しいものがあります。

しかしながら、トラック運送事業は、国内貨物輸送量の約5割（トンキロベース）を担っており、我が国の経済と人々の暮らしを支えるライフラインとして、また、災害時には救援物資輸送等公共的物流輸送機関として、極めて重要な産業ですので、将来に渡って、持続的かつ収益力のある産業であることが必要です。

そのためには、荷主・元請・下請事業者等、関係者間の適正な取引環境の改善と、運転者の長時間労働の抑制に向けた労働環境整備を進めることが重要です。

国土交通省と厚生労働省においては、昨年、学識経験者、経済団体、荷主、トラック運送事業者団体、トラック運送事業者、労働団体、行政機関などにより構成される協議会を中央及び各都道府県に設置しました。その協議会で実態調査・パイロット事業・長時間労働改善ガイドラインの策定等を行うことにより、関係者が一体となって、長時間労働の抑制とその定着を図っていくこととしています。

当県におきましても、8月5日に「トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会」を設置し、12月10日には第2回協議会を開催したところです。今年も同協議会におきまして、実りある議論ができるように一層努力してまいります。

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（公益社団法人全日本トラック協会）が行っております貨物自動車運送事業安全性評価事業「Gマーク制度」につきましては、利用者がより安全性の高いトラック運送事業者

を選びやすくするとともに、事業者全体の安全性の向上に対する意識を高めることから、大変有意義な制度です。

昨年は、11月20日に県内では初めての「Gマーク」をPRするラッピングトラックも登場しました。

また、一昨年に創設されました安全性優良事業所表彰制度では、鹿児島運輸支局におきましても、公益社団法人鹿児島県トラック協会のご協力のもと、10月13日に4事業所に対して、支局長表彰を行うことができました。今後も、引き続き安全性優良事業所の表彰を実施していくとともに、各自治体等に対して、そうした優良認定事業者等の積極的活用をお願いしてまいります。

運送事業にとっての最大の責務は「輸送の安全」であることは言うまでもありません。

昨年の事業用貨物自動車による交通事故発生状況は、発生件数、死者数及び負傷者数のそれぞれが減少したものの、交差点を含む右左折時の死亡事故は増加しており、依然として厳しい状況にあります。

国土交通省では、平成26年11月に「事業用自動車総合安全プラン2009」の中間見直しを行い、これまでの重点施策の更なる強化を図るとともに、「運転者教育の強化、担い手の確保及び育成」をはじめとする新たな重点施策を追加したところです。

また、公益社団法人全日本トラック協会においても、事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を、車両台数1万台当たり「2.0」件以下とする各都道府県（車籍別）の共通目標とし、死亡事故の低い都道府県トラック協会の対策を水平展開し、更なる事故防止対策の推進を図ることとしています。

昨年は、5月29日に屋久島町口永良部島の新岳が爆発し、8月15日には桜島の噴火警戒レベルが3から4に引き上げられました。いずれも沈静化に向かいましたが、本県に暮らす者として、危機管理への対応を常に意識しておかなければなりません。活火山、鳥インフルエンザ、南海トラフ地震など、緊急事態時における安全輸送等に関しましても、経営トップが強いリーダーシップを発揮され、運輸安全マネジメント等に取組み、会社一丸となって安全管理体制を構築・改善、そして、さらに効果的なものにされることを期待しております。

私どもも、法令遵守と安全・安心な輸送体制の構築に向け、引き続き関係機関や業界団体との連携を図ってまいります。

本年も、自動車交通行政に対する皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、トラック事業に携わっておられる皆様方が、本年もまた、大いにご活躍され、社会の高い評価と広い支持を得て、一層の発展を遂げられますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



年頭の辞

鹿児島労働局長

岩崎 修

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

また、公益社団法人鹿児島県トラック協会並びに会員の皆様には、交通労働災害の防止、安全衛生教育の徹底及び運転者等働く方々の労働条件の確保の推進など、年間を通じた幅広い活動に敬意を表します。

さて、鹿児島県の景気については、最終需要面を中心に弱い動きがみられるものの、底堅く推移しつつあるようです。また、鹿児島県の雇用失業情勢についても、前年に比べ有効求人倍率・有効求人数ともに改善するなど、緩やかな回復傾向が続いているところです。

このような中、鹿児島労働局においては、総合労働行政機関としての役割を果たすべく、各種施策を展開しているところです。

まず、雇用の安定を図るためには、未内定学生やフリーター等の正規雇用化への取組が重要です。

県内で約4割を超えている非正規労働者等について、公的職業訓練の活用や、キャリアアップ助成金等の活用により、正規労働者へ転換する業務の推進に取り組んでいます。

また、県内ハローワークにおいても人手不足分野の企業に対するマッチング対策や、「新卒者就職応援ハローワーク」等を拠点としたジョブサポーターの大学等への出張相談により、未内定者への就職支援に取り組んでいます。

その他にも、主体的な雇用創造に取り組む地域等に対する雇用機会創出の支援、生涯現役社会の実現に向けて希望者全員が65歳以上働ける制度導入の促進、また、障害者雇用については能力と適性に応じた雇用の場に就職し、地域で自立した生活を送ることができるよう雇用

対策に積極的に取り組んでまいります。

次に、法定労働条件の履行確保・改善のために、鹿児島運輸支局とともにトラック輸送の取引環境や長時間労働改善に向けた協議会を開催し、最低賃金額の周知と遵守、長時間労働の抑制や休暇取得促進、過重労働による健康障害の防止、労働時間の適正な管理の徹底に係る取組を積極的に推進するとともに、第12次労働災害防止計画に基づく安全衛生対策、職場における健康確保対策及び迅速・適正な労災補償対策の推進等に取り組んでまいります。

なお、陸上貨物運送事業における労働災害をみると、交通事故は全体の1割程度であるのに対し、荷役作業中の墜落・転落災害が4割近く発生していることから、行政機関、貴協会を含めた業界団体及び労働災害防止団体との連携や協力関係を強化し、「交通労働災害防止のためのガイドライン」のほか、特に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知・徹底を図ってまいります。

さらに、男女の均等な機会の確保及び待遇、仕事と家庭の両立支援、パートタイム労働法に沿った雇用管理改善の促進等、労働者が安心して働くことのできる環境づくりや女性の活躍推進に積極的に取り組んでまいります。

鹿児島労働局においては、新年においても、施策の実効ある推進のためには、関係団体との連携が必要不可欠であり、とりわけ貴協会とは交通労働災害防止への取組をはじめ、より一層の協力関係を維持、発展させていかなければならないと考えております。

年頭に当たり、この新しい年が皆様にとって飛躍の年となることを心より祈念し、新年のごあいさつといたします。



年頭の辞

鹿児島県警察本部交通部長

飯屋 浩治

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。鹿児島県トラック協会の皆様には、日頃から交通安全活動を始め、警察業務の全般にわたり深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢は、発生件数及び負傷者数いずれも前年に比べ減少し、平成 24 年から 3 年連続して増加しておりました死亡事故も減少いたしました。

一方、トラックの営業車の交通事故状況は、死亡事故は前年と比べ微増であったものの、発生件数、負傷者数はともに大幅に減少いたしました。

これも皆様方を始めとする、関係各位の御尽力による賜であると改めて感謝する次第であります。

しかしながら、個々の交通事故に目を向けてみますと、交通事故死者数の 6 割以上を高齢者が占めていることや、高齢者が第一当事者となる交通死亡事故も全死亡事故の約 3 割を占めるなど、高齢者が関係する死亡事故が高比率で推移したほか、横断歩道を横断中の小学生が車に轢かれて亡くなる事故や幼児が車から車外放出されて亡くなる事故など、子供が犠牲となる悲惨な死亡事故も発生しました。

また、いまだに飲酒運転等の悪質交通違反に起因する交通事故が発生するなど本県の交通情勢は、決して予断を許さない情勢にあります。

県警察としましては、皆様方をはじめ、関係機関・団体との連携を図りながら、県民の方々が安全で安心して暮らせる交通社会の実現に向けて、街頭活動の強化、高齢者の安全対策の推進、安全で快適な交通環境の整備など各種交通事故抑止活動を強力に推進してまいり所存であります。

昨年の道路交通法の改正により、準中型車が新設され平成 29 年までに施行されることとなり、トラックドライバーの育成などの課題が山積されているところではありますが、経済活動の基盤となる貨物輸送業務の中核を担い、社会に大きく貢献されている皆様におかれましては、引き続き、自動車交通のプロとして交通安全対策に御尽力いただきますとともに、警察行政に対しても御支援御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、鹿児島県トラック協会のますますの御繁栄と会員皆様方の御健勝を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



鹿児島・種子屋久支部長代行 **末永 知広**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

鹿児島・種子屋久支部会員の皆様には、支部活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

我々運送業界を取り巻く環境は、ドライバー不足や労働時間の問題など課題は多く、依然として厳しい状況下ではありますが、会員の皆様と共に一致団結し、「安全な輸送」に取り組んでまいります。

本年が会員の皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



鹿児島南支部長・引越輸送部会長 **加納 潤一**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

鹿児島南支部の皆様方には、支部活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

景気が上向いて来たと言うものの、トラック事業者にとっては、燃料価格・高速料金の割引・自動車関係諸税・中型免許制度・人材不足等々の問題が山積しております。我々事業者が、結束して取り組んでいかなければなりません。トラック輸送が国民生活と経済のライフラインとしての機能を果たせるように、一丸となって取り組みましょう。

また、引越輸送部会におきましては、3月・4月の需要期を迎えます。「あたりまえを、きちんと」をスローガンに、適正運賃の確保・公正競争・輸送秩序の確立に取り組んで

まいります。更に、「引越優良事業所」の認定に向けても取り組み、認定事業者には「引越安心マーク」を交付しております。

会員の皆様の今年一年の企業のご発展を心よりご祈念申し上げます。



薩摩南支部長 **芳田 明**

鹿児島県トラック協会薩摩南支部の皆様方、昨年中は支部運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。私としては必ずしも満足のできる活動ではなかったと思っております。

昨年は原油安で、我々運送会社にとっては一息ついた感はありますが、まだまだ高値止まりで推移し、予断をゆるさない状況にあります。

一番の悩みはドライバー不足、特に若手層の不足が問題であります。県ト協としても「トラックガール」のもと、女性ドライバーの活躍に期待しております。

今年の干支は『申』です。猿は木の上を飛び回るとても活発な動物です。悪い空気を変えられるポジティブ思考の年だと思えます。我々運送業界も猿のようにポジティブに考えましょう。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



薩摩中央支部長 岩下一光

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、気候変動も甚だしく不安定な経済情勢の中で、支部活動に多大なご協力を賜り、本当に有難う御座いました。

依然として、政争が続き、世界全体が落ち着かない状態であり、私達業界に対してもどのような変化があるか解らない一年を迎えようとしています。

このように問題は山積していますが、トラック運送事業の基本に立ち返り無事故・無災害をめざし、安全で安心な生活を会員皆様はもとより、家族みんなが明るく笑って過ごせるような一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



薩摩北支部長 菊池寅峰

薩摩北支部会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

新年にあたり初心の一端を申し述べ、皆様と共に、これから一年の決意を新たにしたいと思えます。

さて昨年は厳しい経済状況ではありましたが、会員皆様のご協力とご理解により、滞りなく支部活動が実施できました。今年も物流業界は色々な面において苦労も多いと思いますが、業界の体質改善支援に努めてまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



霧島支部長 岸田美津志

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度は、イスラム国による日本人人質殺害に始まる世界各地でのテロ事件、関東東北での記録的豪雨災害と暗いニュースが続きました。

一方、私ども業界を取り巻く環境はというと、コスト上昇、ドライバー確保困難といった厳しい状況下にあります。今年こそは業界にとって良い年であります様に祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。





大隅北支部長・木材部会長 **脇 通吉**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

大隅北支部会員並びに木材部会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

支部・部会の運営につきましては、平素から格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

運送業界が厳しい環境の中に置かれてどのくらい経過したことでしょう。燃料は高止まり、運賃は低迷、その上荷物も増加は見込めない。ついにはドライバーの確保が難しくなった昨今ではありますが、避けて通れない現実と向き合い、そして我々運送事業者に求められているものをしっかり自覚し、頑固なスクラムを組んで前進しようではありませんか。

我々の業界が発展していくことを願い、私も微力ながら精一杯その責を務めて参る所存です。

本年も皆様方にとりまして良き年でありますようご祈念申し上げます。



大隅南支部長 **福永 寿一**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

支部会員の皆様には、支部運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、燃料価格はある程度の落ち着きを見せるものの、人材確保や労働時間等の課題も山積しており、依然厳しい状況でした。

また、公益法人移行後の支部活動状況についても、参加率の低下などが憂慮されることから、支部活動の活性化に向けて協会との意見交換の必要性も感じております。

本年も、支部会員のご支援ものと会員同士の連携を深め、結束して支部活動を推進してまいります。



環境部会長 **末吉 晴海**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

部会員の方々には部会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は労働力不足が深刻化し、軽油価格の下落はあったものの、営業利益の改善にはなかなか至らない現状が続いております。

今年も厳しい状況が続くかもしれませんが我々の使命である「安全」を第一に前向きに部会員の皆様と協力しながら部会活動を進めて参りたいと思います。

今年が皆様にとりまして、良い年となりますよう祈念いたします。



港湾部会長 **藤崎 里志**

輝かしい新年を迎え皆様の御繁栄を心より御祈り申し上げます。

運送業界は燃料代こそ安定してきましたが、車両不足や労働不足により相変わらず厳しい経営状況が続いております。こんな時こそ横のつながりを強くして、情報交換をすることが必要なので皆様のご協力を宜しくお願い致します。また会員一丸となって無事故安全輸送に努めたいと思います。

最後に協会並びに会員の皆様のご健勝並びにご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶 [支部長・部会長]



重量部会長 **野崎 義文**

新年明けましておめでとうございます。

部会員の皆様には、日頃より部会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。業界では安全・環境対策、労働対策、適正化事業対策等の多くの課題はございますが、本年も重量部会会員の皆様と共に、コンプライアンス遵守でお客様に満足頂けるサービスを心がけ社会的責任を果たしトラック運送事業の発展を目指していききたいと思います。

今年が皆様にとりまして良い1年でありますようご祈念申し上げます。



食料品部会 **小川 正浩**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

部会員の皆様方には、当部会運営に日頃よりご協力を賜り誠にありがとうございます。全国のライフラインの基礎である食料品輸送に従事する我々にとりまして、本年も引き続き、労働力不足・改善基準告示・安全対策等に係るコンプライアンス負担の増など、厳しい経営環境が予想されます。

会員の皆様もこの難局を乗り越え、今年一年より良い年をなりますよう、心からご祈念申し上げます。



セメント部会長 **加藤 寿邦**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

部会員の皆様には、部会活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年も部会員の皆様との連携を深め、法令遵守、事故防止を図り、安心・安全な輸送サービスの提供に取り組んでいきたいと考えております。

今年一年、皆様にとりまして良き年でありますようご祈念申し上げます。



タンク部会長 **竹迫 勝**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

前任者の転勤により部会長を仰せつかって一年も満たない私ですが、会員の皆様又協会の方々の協力を得て昨年は乗り切ることができました。

今年も変わらぬご理解、ご協力の方お願い致します。石油業界においては、ハイブリッド化や、燃転などにより厳しい状況は続きますが、安全第一、無事故で社会責任を果たしてまいります。

今年一年が、皆様にとって良い年であります様ご祈念申し上げます。



ダンプ部会長 川越 金蔵

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

県トラック協会ダンプ部会員の皆様には日頃から業界発展のために御協力いただき、厚くお礼申し上げます。運送業界も燃料高騰から下り目傾向で少しは良くなって来ているのではないのでしょうか。

2016年は皆様にとってますます良い年でありますようお願いしております。



米穀部会長 山下 太一

新年あけましておめでとうございます。

2016年の新春を迎え、会員の皆様方には心からお喜び申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境は、依然として厳しい環境が続いておりますが、法令の遵守と事故防止に努め、安全を最優先に社会的責任を果たしていきたいと考えております。

この難局を乗り越え、会員の皆様の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



青運会部会長 森 淳一郎

新年明けましておめでとうございます。

早いもので青運会の会長を仰せつかって4年が経ちました。

現在我々運輸業で抱えている人材不足育成等の諸問題に対し若手経営者として果敢に取り組んでいきたいと考えております。

昨年は、3年ぶりにトラックの日フェスティバルが開催され、多くの方にご来場いただきました。また、曾於市立末吉小学校において小学生を対象とした物流出前講座を初めて開催し、運送業界のアピールが出来たのではないかと考えております。

今後の我々の業界が発展して行くことを願いながら今年も青年部一同精一杯頑張ってお参りたいと思います。

今後とも青年部のご理解とご協力をよろしくお願いすると共に会員の皆様の今年一年のご健康ご活躍をお祈り申し上げ、青運会を代表し新年の挨拶とします。



セフティ会部会長 鳥部 敏雄

新年明けましておめでとうございます。

労働力確保困難やコンプライアンス対応等々、業界が抱える問題は相変わらず山積しております。協会として、会員の皆様によりよいサービスを提供できるよう邁進していく所存でございます。力を併せ、業界の地位向上を目指しがんばりましょう。

本年もよろしくお願い致します。



平成27年度安全性優良事業所 新規26事業所・更新59事業所が認定

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関である公益社団法人全日本トラック協会は、トラック運送事業者の交通安全対策などへの事業所単位での取り組みを評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する「平成27年度貨物自動車運送事業安全性評価事業」(Gマーク)の評価を決定し、申請事業所8,420事業所のうち、8,140事業所を認定しました。

鹿児島県内では、新たに認定された事業所が26事業所、初回更新が12事業所、2回目更新が22事業所、3回目更新が8事業所、4回目更新が17事業所の合計85事業所認定されました。今回の認定で鹿児島県内の安全性優良事業所は、241事業所となりました。

新規：26社（有効期間：平成28年1月1日～平成29年12月31日）	
愛甲運送(有) 本社営業所	トールエクスプレスジャパン(株) 川内支店
ジャパンプランニング(株) 始良営業所	(有)ヒガシマル運輸 本社営業所
鹿児島サンクス運輸(有) 志布志営業所	福山エクスプレス(株) 鹿児島営業所
(株)山坂 本社営業所	(有)始良物流 鹿児島営業所
(株)鶏友サービス 本社営業所	(株)有村運送 本社営業所
(株)橋運送 志布志営業所	(株)山川物流 鹿児島営業所
ヤマト運輸(株) 与論島センター	(株)末永建設 本社営業所
(株)橋運送 鹿児島営業所	(株)エスライン九州 鹿屋営業所
屋久島海陸運輸(株) 本社営業所	西久大運輸倉庫(株) 南九州支店
(株)有村運送 志布志営業所	(有)川越産業 本社営業所
アサヒ物流(株) 本社営業所	高千穂倉庫運輸(株) 霧島営業所
日本貨物(株) 加世田営業所	日本貨物(株) 鹿屋営業所
システム物流(株) 本社営業所	(株)サニタリー 本社営業所
更新（初回）：12社（有効期間：平成28年1月1日～平成30年12月31日）	
三九運輸(株) 本社営業所	(有)藤崎運送 本社営業所
熊本交通運輸(株) 鹿児島空港営業所	食品サービス(株) 鹿児島営業所
名瀬港運(株) 本社営業所	丸和運送(株) 鹿児島支店
日本郵便(株) 鹿児島南郵便局	(株)昭和貨物 本社営業所
ヤマト運輸(株) 宇宿支店	(株)南栄運輸 鹿屋営業所
(有)MIKI 物流 本社営業所	(株)ロジステックネットワーク 鹿児島空港営業所
更新（2回目）：22社（有効期間：平成28年1月1日～平成31年12月31日）	
薩摩倉庫運輸(株) 本社営業所	(株)ファミリー一八興 鹿児島営業所
(株)にしけい 鹿児島営業所	九州産交運輸(株) 鹿児島センター
日本郵便輸送(株) 鹿児島営業所	南九州福山通運(株) 知覧営業所
(株)グローバルライン 本社営業所	大和物流(株) 鹿児島営業所
鹿児島荷役海陸運輸(株) 谷山飼料事業所	鹿児島荷役海陸運輸(株) 谷山臨海事業所
宮崎運輸(株) 鹿児島営業所	ヤマトボックスチャーター(株) 鹿児島支店
(株)エルス 串木野営業所	セイノスーパーエクスプレス(株) 鹿児島営業所
ヤマト運輸(株) 垂水本城支店	鹿児島牧迫運輸(株) 本社営業所
ヤマト運輸(株) 鹿屋支店	(株)共進組 本社営業所
九州産交運輸(株) 栗野事業所	九州西濃運輸(株) 出水営業所
日本貨物(株) 鹿児島中央営業所	中越輸送(株) 鹿児島営業所
更新（3回目）：8社（有効期間：平成28年1月1日～平成31年12月31日）	
(株)ユタカ産業 本社営業所	(株)エスライン九州 鹿児島営業所
(有)大始良運送 本社営業所	中村産業輸送(株) 川内営業所
日本通運(株) 鹿児島支店 鹿児島重機建設事業所	中村産業輸送(株) 鹿児島営業所
(株)ゼロ九州 鹿児島営業所	(株)ランテック 鹿児島支店

更新（4回目）：17社（有効期間：平成28年1月1日～平成31年12月31日）	
日本通運(株) 鹿児島航空支店鹿児島空港営業所	(株)キング運輸 大隅営業所
日本通運(株) 鹿児島支店鹿児島総合物流事業所	佐川急便(株) 出水営業所
(有)ナックス 本社営業所	新光運輸(株) 鹿児島営業所
(株)外園運輸機工 本社営業所	佐川急便(株) 南さつま営業所
久留米運送(株) 鹿児島支店	佐川急便(株) 霧島営業所
佐川急便(株) 鹿屋営業所	日本図書輸送(株) 鹿児島営業所
(株)ニヤクコーポレーション 九州支店鹿児島事業所	鹿児島海陸運送(株) 海陸トランスポートセンター
松藤商事(株) 鹿児島事業所	福岡運輸(株) 南九州営業所
佐川急便(株) 大島営業所	

平成27年度新規取得事業所紹介

アサヒ物流(株) 本社営業所

担当者：取締役 重久 知幸 様

○Gマーク取得を目指したきっかけは？

安全性対策については以前から力を入れていたが、さらなる安全に対する意識向上を図るため取得を目指した。

○取得する上で苦労したことは？

安全対策会議や、講習会等は以前から実施していた。

特に苦労したことは無いが、交通事故防止に関する内容に力を入れた。

○Gマークを取得して今後の展望は？

社員の安全に対する意識向上と、輸送品質のさらなる向上を図りたい。



ジャパンプランニング(株) 始良営業所

担当者：専務取締役 亀元 亮宏 様

○Gマーク取得を目指したきっかけは？

漠然とした安全に対する取り組みではなく、Gマークのような「目に見える安全の指標」に基づいて推進いくことが安全を図るための近道だと思い取得を目指した。

○取得する上で苦労したことは？

特に苦労したことはないが、まずは取得に向けて取り組んでみるのが大事であり、不明な点は県ト協の職員が親身になって対応してくれるので積極的に活用するべきであると感じた。

○Gマークを取得して今後の展望は？

社員の継続的な安全意識の向上とリスク管理を「やらされるのではなく、ドライバー自身で考えてもらう」体制を築いていきたい。



Gマークの取得・更新については、適正化事業課までお気軽にご相談ください。



平成28年度 安全性評価事業申請に向けた説明会

月日 平成27年11月28日(土)

場所 鹿児島県トラック研修センター

■目的

安全性評価事業（Gマーク）のさらなる普及・拡大

■受講者数

43名

■内容

平成28年度安全性評価事業の更新事業所及び新規申請予定事業所を対象に説明会を開催しました。

- ・安全性評価事業の概要について
- ・申請までのスケジュール
- ・項目別判断基準について
- ・必要書類の説明 他



第5回(平成27年度) 霧島市10万本植林教室に参加しました

月日 平成27年11月29日(日)

場所 国分上野原(上野原縄文の森近く)

■目的

自然環境の保全・再生、地球温暖化対策や環境学習などへの取組の一環として、市民との共生協働による市民一人あたり1本を目安に「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を積極的に推進し、伐採跡地などを地域本来の植生である照葉樹に転換すること

■出席者

トラビジョン21委員 1名
県ト協事務局 4名

■内容

雨の中ではありましたが、伐採跡地などを地域本来の植生である照葉樹に転換するため、自然環境の保全・再生のために思いを込めて植林しました。



物流出前講座 (鹿児島県立鹿屋農業高等学校)

月日 平成27年12月9日(水)

場所 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

■講座の目的

高校生を対象にトラック運送業界の日頃の活動を紹介する等を通して物流に関心を持ち、将来の進路選択に役立ててもらうこと



■受講者数

同校1、2年生20名

■講座内容

- ・物流の概要
 - ・運送会社の仕事紹介
- 【講師】物流効率化委員



平成27年度第2回トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会

月日 平成27年12月10日(木)

場所 鹿児島サンロイヤルホテル

■協議会の目的

トラック運送業においては、総労働時間が長く、また、運行時間以外に手待ち時間などの実態があり、トラック運送事業者のみの努力で長時間労働を改善することが困難な状況にあることから、長時間労働の抑制に向けた環境整備を進めることが必要である。

このため、学識経験者、荷主、トラック運送事業者、トラック運送事業者団体、労働者団体、厚生労働省、国土交通省等が参画する協議会を中央及び各都道府県に設置し、実態調査・パイロット事業・長時間労働改善ガイドラインの策定等を行うこととし、関係者が一体となり、トラック運送業における取引環境の改善及び長時間労働の抑制を実現するための具体的な環境整備等を図ることを目的とする。



■議 題

1. 第2回中央協議会の概要について
2. トラック輸送状況の実態調査について
3. 事業者アンケートにおける長時間労働・労働時間短縮に対する意見等について
4. 荷主ヒアリングの結果概要について
5. パイロット事業について

■協議会委員については、トラック情報誌9月号をご参照ください。

国土交通省認定 NASVAガイドラインセミナー等のお知らせ

自動車事故対策機構より、セミナー等の案内がありました。「ガイドラインセミナー」は平成22年ガイドライン14項目に関する解説や具体的事例を交えた講義を行います。

また、「リスク管理（基礎）セミナー」では事故防止担当を対象として事故分析手法を学ぶため、グループワークでの講習が行われます。

1. 日時 『(国土交通省認定) NASVA ガイドラインセミナー』
平成28年2月17日(水) 13:30～17:00

『(国土交通省認定) NASVA リスク管理（基礎）セミナー』
平成28年2月18日(木) 13:30～17:00

2. 場所 鹿児島県住宅供給公社ビル 3階大会議室(鹿児島市新屋敷町16-401)

3. 受講料 各セミナーとも5,100円

4. 申込方法 インターネットからの予約となります。
(http://www.nasva.go.jp/fusegu/mng_schedule.html) よりご予約ください。
予約が確定したら、NASVA から電話で予約番号の連絡があります。
定員になり次第締切ります。

5. 認定セミナーの制度概要

① 運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効なセミナー

一定の基準を満たし運輸安全マネジメント制度の浸透・定着に有効であると国土交通省が認定したセミナーです。なお、国土交通省が認定するセミナーの種類は次のとおりです。

[1] ガイドライン [2] リスク管理（基礎） [3] 内部監査（基礎）
[4] リスク管理（上級） [5] 内部監査（上級） [6] その他

② 受講のメリット（監査インセンティブ）

運送事業者の経営管理部門の要員が認定セミナーを受講し、かつ、受講内容を活用していることが国土交通省において確認された場合には、地方運輸局の長期未監査を理由とする一般監査の対象としないことができるとされています。

【お問合せ】

独立行政法人 自動車事故対策機構鹿児島支所
〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16-401公社ビル420号
TEL:099-225-0782 FAX:099-225-0783

平成27年度整備管理者研修のご案内

整備管理者は、整備管理者研修について、2年に一回の受講義務がありますので必ず受講をお願いします。

受講義務のある整備管理者は、鹿児島運輸支局へ選任届出をしている方です。

※平成27年度、最後の整備管理者研修になります。

下記、受講対象者に該当する方は必ず受講ください。

開催日時	開催場所	受講対象
平成28年1月25日(月)	鹿児島県トラック研修センター (鹿児島市谷山港2丁目4-15)	トラック

■研修時間

13時30分～17時00分（受付13時00分～）

■受講対象者

1. 平成26年度の整備管理者研修終了以降、新たに選任された者
2. 平成26年度に受講しなかった者
3. 受講を希望する者

■その他

1. 整備管理者手帳・研修受講証をお持ちの方は、ご持参ください。
なお、お持ちでない方は、研修受講証を交付します。
2. **事前のお申込みは必要ありません。**当日、別紙申込書に必要事項ご記入の上、受付に提出してください。申込書は、鹿児島県トラック協会ホームページからダウンロードできます。
3. テキスト代は、無料です。
4. **研修会場（鹿児島県トラック研修センター）には駐車できませんので、鹿児島運輸支局構内（鹿児島市谷山港2丁目4-1）に駐車ください。**
5. 大変混みますので、早めに受付をお済ませください。

鹿児島マラソン2016開催に伴う交通規制のお知らせ

平成28年3月6日(日)に観光客の誘致を図り、町のにぎわいを創出するとともに、市民のスポーツの振興に資することを目的に、鹿児島マラソンが開催されます。

それに伴い、大会当日は交通規制等が実施されますので、ご協力くださいますようお願いいたします。



鹿児島マラソン 2016

KAGOSHIMA MARATHON

開催日時 2016年3月6日(日)開催

マラソン 8:30スタート

ファンラン 8:45スタート

▲ 交通規制のお知らせ ▲

鹿児島マラソン大会当日は、
コース及び周辺道路で交通規制を実施します。
ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご協力をお願いします。

※規制時間、規制区間は予定であり、変更されることがあります。



3月6日(日)は、ノーマイカーにご協力ください

大会当日は、長時間にわたり大規模な交通規制を実施するため、交通渋滞が予想されます。
お出かけには、マイカーの使用を控え、**公共交通機関の利用**をお願いします。

交通規制による影響

- コース上の道路は、車両の通行ができません。(救急車等の緊急車両を除く)
- 歩行者・自転車の通行及び横断も制限されます。
- 各所で渋滞が予想されます。
- 公共交通機関においても、ダイヤ変更や遅れなどが予想されます。
- 郵便物や宅配便などが遅れて届くことも予想されます。

大会・交通規制に関する問い合わせ

鹿児島マラソン実行委員会事務局 TEL:099-803-9622 [受付時間:平日8:30-17:15]
(鹿児島市経済局観光交流部スポーツ課内)

サンサンコールがごしま TEL:099-808-3333 [受付時間:毎日8:00-21:00]

詳しくは大会公式ホームページをご覧ください。

鹿児島マラソン

検索

※大会当日の運行計画は、交通規制等を考慮した 運行コース、時間設定をお願いします。

交通規制MAP

2016年3月6日(日) 鹿児島マラソン開催に伴い、交通規制(予定)を実施します。



詳しくは裏面をご覧ください。

次月号に、鹿児島市街地周辺の交通規制マップを掲載します。

降積雪期における輸送の安全確保の徹底のお願い

降積雪期を迎える中、輸送の安全確保に遺漏のないよう、下記の事項について周知徹底を図り、事故の防止に努めてください。

- ◎ 気象情報や道路情報における降雪状況を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。
- 積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期にスタッドレスタイヤ及びタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。なお、スタッドレスタイヤへ交換する際は、ホイール・ボルトの誤組防止、締付けトルクの管理を確実に行うこと。
- 点呼時等において、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
- 積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
- 気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行計画の変更等の適切な措置を講ずること。
- 乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。

また、全ト協ホームページに「雪道対策について」のコーナーが設けられておりますので、そちらもご活用ください。

◆全日本トラック協会ホームページ
HOME > 会員の皆様へ > 安全対策 > 雪道対策
<http://www.jta.or.jp/info/snow2015.html>

事業用自動車事故調査報告書に係る 事故の再発防止対策に対する取り組みのお願い

国土交通省より、事業用自動車事故調査委員会が事業用自動車事故調査報告書を公表した
ことについて通知がありました。会員の皆様には、今後、同種の事故を未然に防止するため、
同報告書において提言のあった再発防止策について、積極的に取り組まれるようお願いしま
す。

また、事業用事故調査委員会から事故の報告書が提出された場合は、下記ホームページに
掲載されますので、ご確認ください。

掲載先のホームページ URL

○国土交通省 > 事業用自動車事故調査委員会
<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anken/jikochousa/report1.html>

下請取引の適正化及び下請事業者への配慮等について

経済産業省及び公正取引委員会では、下請代金支払遅延等防止法（下請法）に基づく違反行為に厳正な対処を行うとともに、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（消費税転嫁対策特別措置法）を平成 25 年 10 月 1 日から施行し、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保を図っているところですが、このたび下請法や消費税転嫁対策特別措置法の遵守について周知徹底要請がありました。

また、政府として、下請事業者の経営基盤を強化する観点から、親事業者に対して、「下請中小企業振興法」に基づく「振興基準」の遵守を要請しているところであり、親事業者に対する「振興基準」の遵守についても周知徹底要請がありました。

詳細については、下記のリンク先をご確認ください。

◆全日本トラック協会ホームページ

HOME > 会員の皆様へ > 燃料高騰対策・取引適正化

http://www.jta.or.jp/kikaku/shitauke/shitauke_hairyo201511.html

「トラック運送業界の景況感(平成27年7月～9月期)」の調査報告

(公社)全日本トラック協会より「トラック運送業界の景況感(速報)平成27年7月～9月期」のとりまとめについて通知がありました。詳細は、全ト協ホームページをご覧ください。

平成 27 年 7 月～9 月期は、中国経済の減速などを背景に輸出関連企業を中心に企業業績が悪化傾向にある中で、訪日外国人による消費効果が寄与し国内消費は堅調に推移した。日銀短観の 9 月調査における業況判断 DI は、大企業・製造業において悪化傾向となったが、一方で大企業・非製造業は改善傾向が示された。

このような環境下において、トラック運送業界の 7 月～9 月期は、軽油価格の下落が企業業績に好影響を与えたことにより、営業利益の改善効果がみられた。このため、景況感の判断指標は▲19.4 となり、前回(▲34.6)から改善した。しかし、ドライバー不足は引き続き深刻な状況にあるため、軽油価格が下落しても、営業利益の改善効果が得られない事業者も高い比率で存在する。

来期の景況感の判断指標は、今回より僅かに悪化の▲22.2 が見込まれている。

全ト協ホームページリンク先

◆「トラック運送業界の景況感(速報)平成27年7月～9月期」

http://www.jta.or.jp/chosa/keikyo/keikyo_pdf/keikyo1507_09.pdf

冬季の省エネルギー対策

国が「省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議」を開催し、「冬季の省エネルギー対策について」が決定されましたので、お知らせします。

会員の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

○産業界等に対する協力要請(抜粋)○

運輸関係

- 運輸分野における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施**
省エネ法の判断基準に基づく取組方針の策定など、適切なエネルギー管理を実施すること。
- エコドライブの実践**
自動車を利用する場合には、エコドライブの実践、交通渋滞の軽減に資するシステムの利用等とともに、自動車に利用をできる限り控えること。

自動車関係

- 低公害車公用車・次世代自動車の導入促進**
一般公用車については低公害車の導入比率100%を維持するとともに、一般公用車以外の公用車についても、数値目標を掲げて低公害車化を図ること。

工場・事業場関係

- 工場・事業場における省エネ法に基づくエネルギー管理の実施**
- 自主的な省エネルギーへの取組の推進**

ビル・住宅関係

- 住宅・ビル等の省エネルギー対応**
断熱材の利用、設計・施工上の工夫による熱負荷の低減など明確な設計及び施工を行うこと。
- エネルギー消費効率の高い機器の選択・購入**
家電機器、OA機器等の購入に当たっては、国際エネルギースターロゴの表示や、政府、事業者等が手供するエネルギー消費効率に関する情報を参考としつつ、より省エネルギー性能の高い機器を選択すること。

設備・機器関係

- 空調に関すること**
使用していないエリアは可能な限り空調を停止し、暖房を使用する場合は設定温度19℃を徹底すること。
換気量を適切に調整する等、エネルギー消費についてきめ細やかな管理を行うこと。
カーディガンや機能性素材の肌着等の着用など、「ウォームビズ」を励行すること。
- 照明に関すること**
業務上特に必要な照度を確保しつつ大幅に削減し、使用していない箇所の消灯を徹底すること。
- 電気機器等に関すること**
パソコン・プリンタ、コピー機などについて、スリープモードを最大限活用し、使用していないOA機器のプラグは抜いて業務に支障のない範囲で待機電力を削減すること。
電気ポットやコーヒーメーカー等の使用は極力控えること。

【お問合せ】

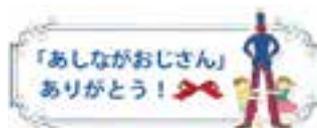
鹿児島県環境林務部地球温暖化対策課 TEL:099-286-2586 FAX:099-286-5539

URL

<https://www.pref.kagoshima.jp/ad02/kurashi-kankyo/kankyo/ondanka/>

交通遺児支援「募金型自動販売機」設置のお願い

標記について、公益財団法人交通遺児育英会より周知依頼がありました。
次代を担う子供たちの修学と育成のため、「募金型自動販売機」の設置によるご支援をご検討ください。



『公益財団法人 交通遺児育英会』

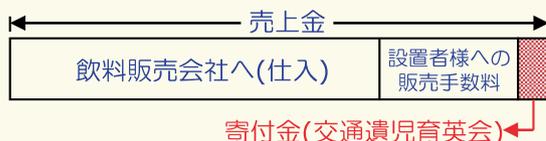
交通遺児支援「募金型自動販売機」

皆様にご購入いただいた売上の一部で、父母の交通事故が原因で経済的に修学が困難になった子供たちを支援する、「募金型自動販売機」です。

【設置のステップとシステム】

①『交通遺児育英会』の活動に賛同くださる企業・団体・個人様(設置者様)に、募金型自動販売機(自販機)を飲料販売会社(業者)が無料で設置させていただきます。

②売上に対する寄付金額の割合は、設置者様に決めていただきます。



③自販機の管理、飲料の補充、売上金の回収及び『交通遺児育英会』への寄付金の送金は、業者が行います。

④『交通遺児育英会』は「寄付受領証明書」を発行し、直接設置者様へ郵送いたします。

*寄付は、税制上の優遇措置を受けられます。

⑤自販機で販売する商品は、コカ・コーラ社製品となります。

社会貢献の輪が広がる
自販機です！！



【寄付先団体】

公益財団法人 交通遺児育英会

【お問合せ先】

公益財団法人 交通遺児育英会
担当：募金課
TEL: 0120-521285
mail: bokinka@kotsuiji.com
http://www.kotsuiji.com

公益社団法人
鹿児島県トラック協会

参加
無料

平成27年度

物流セミナー



テーマ：どうなる日本！？

～ 政治経済の明日を読み解く ～

講師：辛坊 治郎 氏

(株)大阪総合研究所代表、元読売テレビ解説委員長

日時 平成28年1月21日(木)

14:00～16:00

場所 かがしま県民交流センター

中ホール(2階)

定員 200名

※定員になり次第、締切ります

申込み 別紙申込書にてお申込みください。

※TEL・FAXにて事前にお申込みください。

(セミナー詳細は別紙申込書をご覧ください)

※駐車場に限りがございますので、出来るだけ
公共交通機関をご利用ください。

講師プロフィール

1956年 鳥取県米子市生まれ 大阪府岸和田市出身

1980年 早稲田大学法学部卒業

同年 読売テレビ放送株式会社入社

アナウンサー、キャスター

ドキュメンタリープロデューサー等を担当

1993年 報道局解説委員

1997年 ニューヨークベース大学客員研究員

～1998年

2000年 報道局情報番組部長

2009年 読売テレビ解説委員長

2010年 読売テレビ放送株式会社退社

同年 (株)大阪総合研究所代表就任

現在、読売テレビ、ニッポン放送等でキャスター、
ニュース解説を担当

トラックは生活と経済のライフライン



公益社団法人
鹿児島県トラック協会

(お申込み・お問合せ)

〒891-0131

鹿児島市谷山港二丁目4番15号

TEL 099-261-1167 FAX 099-261-1169

<http://www.kta.jp>

公益社団法人鹿児島県トラック協会 平成27年度物流セミナー参加申込書

◆日 時：平成28年1月21日（木） 14：00～

◆場 所：かごしま県民交流センター 中ホール（2階）
鹿児島市山下町14-50

セミナープログラム		
13：00	開 場	
14：00	開 会	主催者あいさつ (公社)鹿児島県トラック協会長
14：10	第1部	鹿児島県トラック協会の取組みのご紹介
14：30	第2部	講演 演 題：どうなる日本！？ ～ 政治経済の明日を読み解く～ 講 師：辛坊 治郎 氏 (株)大阪総合研究所代表 元読売テレビ解説委員長
16：00	閉 会	

会 社 名		参加者数
申込者氏名		名
	*複数の場合は代表者の方をご記入ください	
ご 連 絡 先	住所	
	TEL	

※会員の皆様も事前申込が必要です。

申込締切：1月12日（火）までにお申込みください。

定員（200名）になり次第締切ります。

【お申込み】

公益社団法人鹿児島県トラック協会

TEL：099-261-1167

FAX：099-261-1169

原価意識向上実務セミナー・契約書締結等 書面化推進セミナーのご案内

(公社)全日本トラック協会との共催で「原価意識向上セミナー」を開催します。
今年度は、昨年度までの基礎編、実践編に交渉編を加えました。

併せて、荷主企業との交渉のために「契約書締結等書面化推進セミナー」を開催します。

経営者のほか実務担当者は、是非受講してください。

1. 開催日時

「原価意識向上実務セミナー」

平成 28 年 1 月 28 日 (木) 13:30 ~ 17:00

「契約書締結等書面化推進セミナー」

平成 28 年 1 月 29 日 (金) 13:00 ~ 15:30

2. 開催場所

鹿児島県トラック研修センター 2 階大講堂
鹿児島市谷山港 2 丁目 4 番 15 号

3. 内容 (予定)

「原価意識向上実務セミナー」

- ①トラック運送業の原価計算
- ②車両単価の原価計算
- ③運行ルート単位、取引先単位の原価計算
- ④輸送特性・業態別の原価計算の演習
- ⑤原価計算結果を活用した交渉

「契約書締結等書面化推進セミナー」

- ①契約の基本事項
- ②トラック運送業における問題のある商慣行
- ③トラック運送業における契約書面化
- ④国土交通省「書面化ガイドライン」の解説
- ⑤書面化に向けて取組む事項 等

※使用教材はテキストを使用しますが、セミナー当日、受講者に配布します。

4. 講師

小坂 真弘 氏 (日本 PMI コンサルティング(株) 税理士・代表取締役社長)
※トラック運送会社における経営改善、運賃交渉、人材育成、経営分析、経営分析、原価計算・原価管理コンサル等

5. その他

両セミナーとも、必ず電卓、筆記用具を持参ください。

6. お申込み

受講希望の際は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、
1月21日(木)までに

県ト協 (FAX: 099 - 261 - 1169) までお申込みください。

原価意識向上実務セミナー 契約書締結等書面化推進セミナー 受講申込書

①希望されるセミナー名に☑を付けてください。

②申込者の役職と氏名を記入してください。

<input type="checkbox"/> 原価意識向上実務セミナー (1月28日(木))		
申込者名	(役職)	(氏名)
	(役職)	(氏名)

<input type="checkbox"/> 契約書締結等書面化推進セミナー (1月29日(金))		
申込者名	(役職)	(氏名)
	(役職)	(氏名)

事業者名 : _____

ご担当者名 : _____

【申込先 : (公社) 鹿児島県トラック協会 総務企画課 FAX099-261-1169】

※個人情報は、当協会が責任をもって管理し、原価意識向上実務セミナー及び契約書締結等書面化推進セミナーの的確な実施に使用します。

運行管理者試験対策事前講習会 のご案内

平成 27 年度第 2 回運行管理者試験（3 月 6 日（日））対策として、標記講習会を下記のとおり開催します。受講希望者は、「運行管理者試験対策事前講習会受講申込書」により申し込みください。

近年の運行管理者試験は非常に難しくなっていますが、前回の試験でも高い合格率へ導いていただいた嘉村氏を講師としてお招きしますので、受験予定の方はぜひ受講されることをお勧めします。

前回の運行管理者試験における合格率

	鹿児島県（全国）	嘉村氏講習受講者
平成 27 年度第 1 回（H27.8.23 実施）	24.7%（22.6%）	32.4%

1. 開催日時・定員

	日 時	場 所	定 員
①	平成 28 年 2 月 27 日（土） 9:00～17:00（受付 8:30～）	鹿児島県トラック研修センター 2 階大講堂 鹿児島市谷山港 2-4-15	100 名

※定員になり次第、締切とします。

2. 講師 九州トラック交通共済協同組合 常務 嘉村公成 氏
3. 受講料 2,000 円（テキスト代含む）※当日、受付でお支払ください。
（※鹿児島県トラック協会の非会員事業所は受講料が 5,000 円となります）
4. テキスト 講習会で使用するテキストは講師が監修したものを使用します。
※過去の出題問題も含めてより実践的な講習を予定しています。
5. 申込締切 2 月 19 日（金）までに F A X でお申し込みください。
6. その他 ※駐車場は、鹿児島運輸支局構内（鹿児島市谷山港 2 丁目 4 番 1 号）
になります。
講習会会場には駐車できませんのでご注意ください。
※昼食は各自ご準備ください。
※筆記用具はご持参ください。
※この講習は受験資格を得るための講習（基礎講習等）ではありません。

【お問合せ・お申込み】

公益社団法人鹿児島県トラック協会 適正化事業課

〒891-0131 鹿児島市谷山港2-4-15 TEL:099-210-9498 FAX:099-262-5500

運行管理者試験対策事前講習会 受講申込書

■事業者名： _____

■連絡先（TEL）： _____

受講者氏名	受講者氏名

幹部・管理者研修開催のご案内

長引く景気低迷の下で、環境対策や交通安全対策などへの対応等多くのコストアップ要因を抱えおり、企業の幹部・管理者は、この厳しい時代環境の中で将来を見通し的確な判断能力を持って業務に取り組む必要があります。

そこで、幹部・管理者として必要な考え方や知識、スキルを習得し、幹部・管理者としてのあり方を学び、参加者の相互交流と相互啓発を通じて、スキルアップすることを目的とした研修会を下記のとおり開催します。

参加ご希望の方は、2月12日(金)までに下記受講申込書にてFAX(099-261-3113)でお申込みください。

1. 日 時 平成28年2月20日(土) 9:00~16:30
※ 昼食はこちらで準備します。

2. 場 所 鹿児島県トラック研修センター 2階大講堂
鹿児島市谷山港2丁目4-15
TEL 099-261-1167
FAX 099-261-3113

3. 講 師 綾部 淳 氏 綾部総合教育研究所 所長

4. 研 修 内 容
・ 幹部管理者としての立場・心構え
・ 幹部管理者としての問題の分析と解決能力
・ 組織をまとめるリーダーシップ
※ 全ての研修を受講した方に修了証を交付します。

研修内容は変更になる
場合があります。

5. 人 員 20名(先着順)

6. 研修受講料 会員事業者:1,000円/人 非会員事業者:5,000円/人
※ 研修受講料については、当日徴収させていただきます。

7. 申 込 締 切 2月12日(金)

幹部・管理者研修に参加いたします。

年 月 日

(事業所名) _____

(役職・参加者氏名) _____

(連絡先電話番号) _____

担当：労働・環境課 (FAX 099-261-3113)

※ご記入いただいた個人情報は、本目的以外には使用いたしません。

平成27年度 中小企業大学校講座受講促進 助成制度のご案内

受講料3分の2を助成します！

業界における経営管理者層の資質の更なる向上を図り、経営基盤の一層の強化を目指す観点から、会員事業者の経営者・管理者等を対象に、中小企業大学校において実施される経営戦略等の講座を受講された場合、受講料の3分の2を助成します。(県ト協3分の1、全ト協3分の1)

●制度の対象となる講座

- (1) トップのための経営戦略、経営計画等に関する講座
- (2) 実践的な財務管理、利益計画等に関する講座
- (3) 管理者のための人材育成、労務管理等に関する講座
- (4) 女性リーダーの能力開発等に関する講座
- (5) 情報化、システム構築に関する講座
- (6) その他物流事業にかかわる講座

●手続きフロー

会員事業者	①別紙「受講申請通知書」、「誓約書」を提出	県ト協
	②受講承認通知	県ト協
	③講座の申込み及び受講料の納付。受講	中小企業大学校
	④受講終了後、「受講修了通知書」、「受講修了証書(写)」、「振込金受取書(写)」を添えて助成金申請	県ト協
	⑤助成金の支払い(受講料の3分の2)	県ト協

※ 1 会員からの複数の申込みも妨げませんが、**申込みが多い場合は人数を調整いたします。**(ただし、定款第5条(1) 普通会员の「イ」にあたっては、1名とします。)

※ 「受講申請通知書」「誓約書」「受講修了通知書」は県ト協ホームページからダウンロードできます。

(県ト協ホームページ>助成金制度について>助成事業に関する規程)

〔中小企業大学校人吉校講座スケジュール〕

分野	コース No	研修コース名	実施期間	日数	定員 (人)	受講料 (円)
組織 マネジメント	23	部下のほめ方・叱り方とモチベーション管理	1月26日～28日	3日間	30	31,000円
	26	女性管理者のためのアイデア発想・活用法	2月16日～18日	3日間	30	31,000円
組織 人事	27	戦力化のためのOJTの計画と推進	2月23日～25日	3日間	30	31,000円
販売 マーケティング 商品開発	25	販売計画の考え方と進め方	2月8日～10日	3日間	30	31,000円

※申込締切日は原則、受講日の20日前までとなります。

※申込み状況については、事前にお問合せください。

第39回(4期)近代化基金融資申込みのご案内

◆平成27年度4期の近代化基金融資申込みを下記のとおり実施します。

公募期間：平成28年1月8日～平成28年1月20日（※厳守）

【公募融資枠 47,977千円】

※導入時期を翌年度へ持ち越すことが可能な場合は、翌年度お申込みください。

①一般融資 融資限度

イ、個別企業体 2,000万円 ロ、共同体 5,000万円

利子補給 0.4%

※低公害車及び省エネ関連機器導入については、どちらも1,500万円

利子補給 0.6%

②ポスト新長期規制適合車融資 融資限度 3,000万円 利子補給 0.6%

【重要なお知らせ】

公募融資枠を超える申込みがあった場合は、全日本トラック協会に対し推薦します。

全日本トラック協会への全国の応募総額が、その公募枠を上回った場合、全日本トラック協会では、**一部減額して決定することがあります**のでご了承ください。

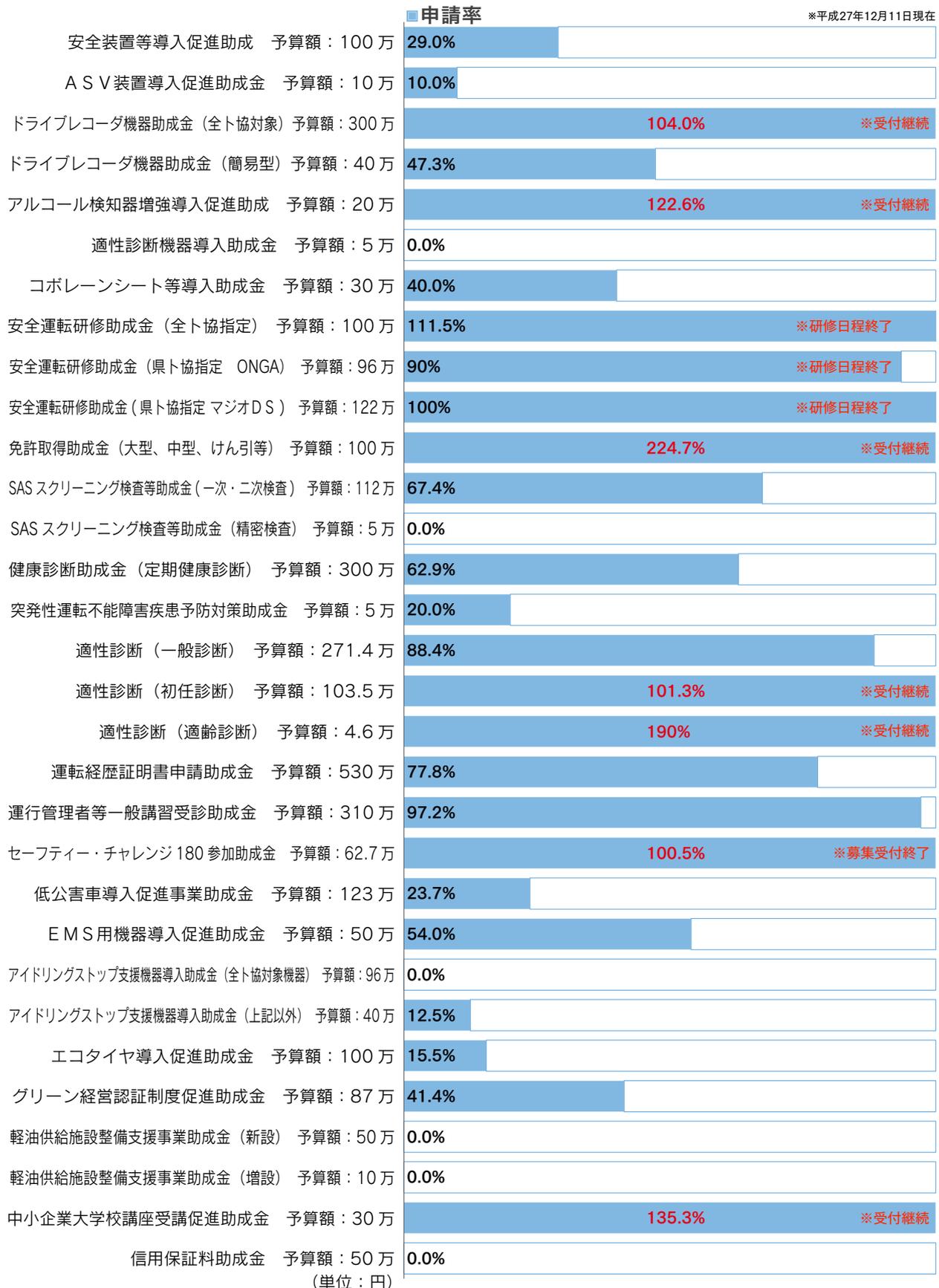
当近代化基金融資の申込みを行う場合は、事前にお電話くださるようお願いいたします。

【お申込み・お問合せ】

公益社団法人鹿児島県トラック協会 経理課

TEL 099-261-1167 FAX 099-261-1169

平成27年度助成金申請状況のお知らせ



※詳細は8月号に同封の冊子（平成27年度助成事業案内）をご確認ください。

※申請率が100%に達している場合も受付を継続しておりますので、お問合せください。

助成金制度の締め切りが迫りました!

平成 27 年度各種助成金（免許取得、低公害車、信用保証料を除く）が **2月26日（金）**をもって受付終了となります（原則）。まだ報告書（請求書）を提出されていない会員事業者は、早めにご提出ください。不明な点につきましては、労働・環境課までご連絡ください。

【お問合せ】

公益社団法人 鹿児島県トラック協会 労働・環境課

TEL:099-261-1167 FAX:099-261-3113

ドライブレコーダ導入促進助成事業に係る 対象機器追加のお知らせ

県ト協及び全ト協では標記助成事業を実施しておりますが、下記の通り助成対象機器が追加・削除されましたのでお知らせします。

なお、同一事業において国の補助金が交付される場合、県ト協・全ト協は助成金を交付しません。

【ドライブレコーダ追加機器】

◆簡易型

- ・青木製作所
フルタイムHDドライブレコーダー AMEX-A04HDTR
- ・ジェットイノウエ
TEAM SMART RECORDER TSR-T3GPS
- ・イーテック
JANUS GW-200
- ・日本ビューテック
1カメラ用ドライブレコーダー VF-DVR-001

◆標準型

- ・富士通テン
OBVIOUSレコーダー DRU-5010(S)-DR
DRD-5020(S)-DR 自TDII-64
- ・光英システム
ドライブレコーダーK110 K110

◆運行管理連携型

- ・光英システム
ドライブレコーダK100 K100
- ・富士通テン
OBVIOUSレコーダー DRU-5010(E)-DR
DRD-5020(E)-DR 自TDII-64

支部・部会だより

支部・部会開催状況

支部

月日	行事名	場所
12月5日(土)	肝属車友会荷主懇談会	さこだ荘
12月5日(土)	トラック北部会定例会	南洲館(鹿児島市)
12月10日(木)	鹿屋支部荷主懇談会	さつき苑(鹿屋市)
12月16日(水)	鹿児島南栄会第2回役員会	こんぴら丸(鹿児島市)

部会

月日	行事名	場所
11月27日(金)	平成27年度食料品部会荷主セミナー	ホテルパレスイン鹿児島(鹿児島市)
11月28日(土)	平成27年度第1回青運会定例会	本家 熊虎(鹿児島市)
12月10日(木)	平成27年度第1回重量部会定例会	南洲館(鹿児島市)
12月17日(木)	平成27年度第1回環境部会定例会	まえだ(鹿児島市)

会員の声

📎 トラック北部会定例会

1年間の労をねぎらうには、同じ会員さんと膝を交えるのが一番です。本会は、大変有意義でした。

📎 鹿屋支部荷主懇談会

JA鹿児島きもつき中村氏から、「トラックは原料を生産者から加工業者に、そして製品を消費者へ安全・迅速に輸送するなくてはならないパートナーです。」との挨拶がなされた。

トラック北部会定例会



鹿屋支部荷主懇談会



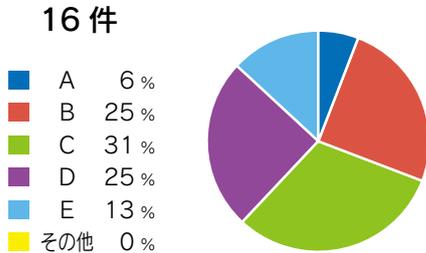
支部・部会だより

支部1月行事予定

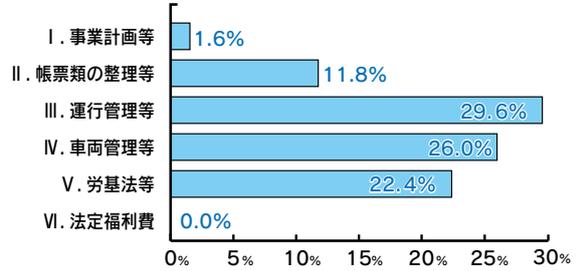
月 日	行事名	場 所
1月12日(火)	平成27年度第3回霧島支部役員会	始良地区研修センター (始良市)
1月19日(火)	平成27年度第4回大隅北支部役員会	レストラン赤坂(曾於市)
1月22日(金)	平成27年度第5回薩摩北支部役員会	出水運輸センター(株) (出水市)

平成27年度(11月)巡回指導結果

巡回指導評価別結果 (平成27年11月)



指導区分別(否)比率 (平成27年11月)



巡回指導結果では、C評価（適の割合が70%～80%）が31%でした。
 また、B評価（適の割合が80%～90%）、D評価（適の割合が60%～70%）が25%でした。
 指導評価区分では「**III. 運行管理等**」が**29.6%**の指摘となっております。
 項目では、「**特定の運転者に対する適性診断の受診**」について指摘が多く、
 指摘が多かった理由としては、「**初任診断、適齢診断（65歳以上）の未受診**」があげられます。
 その他、指導評価区分毎の指摘の多い項目は下記の通りです。

区分	調査事項		
	主な指摘理由		
I. 事業計画等	届出事項に変更はないか。(役員変更等)	(理由) 代表権のない役員等の変更あり	
	II. 帳票等の整備、報告等	事業報告書、事業実績報告書を提出しているか。 (理由) 事業報告書・事業実績報告書未提出	
III. 運行管理等	運行管理者に所定の研修を受けさせているか。 (理由) 研修未受講	過労防止を配慮した勤務時間、乗務時間を定め、これを基に乗務割が作成され、休憩時間、睡眠のための時間が適正に管理されているか。 (理由) 拘束時間16時間超過、連続運転4時間超、休息期間不足	
	点呼の実施及び記録・保存は適正か。 (理由) 電話点呼あり、点呼のタイミング不適切、点呼記録簿項目不足あり 他	乗務等の記録（運転日報）の作成・保存は適正か。 (理由) 記入漏れあり	
	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。 (理由) 指示書作成全く無し 他	乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。 (理由) 指導監督指針未対応 他	
	特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。 (理由) 初任運転者全て教育未実施、事故歴把握なし 他	特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。 (理由) 初任診断全て未受診 他	
	整備管理者に所定の研修を受けさせているか。 (理由) 研修未受講	日常点検基準を作成し、これに基づき点検を適正に行っているか。 (理由) 一部未実施	
	IV. 車両管理等	定期点検基準を作成し、これに基づき点検・整備を行い、点検整備記録簿等が適正に保存されているか。 (理由) 3ヵ月点検一部未実施 他	
	V. 労基法等	36協定が締結され、届出されているか。 (理由) 協定未届出	所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。 (理由) 全員未実施（未受診）、深夜業従事者診断対象者一部未受診あり 他

ご不明な点がございましたら、適正化事業課までご連絡ください。

過積載違反状況

平成27年11月分
資料:鹿児島県警察本部

【積載物・違反取締状況】



過積載取締り状況(件数)

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	累計
H26	0	0	4	4	7	8	8	1	8	8	11	2	61
H27	1	4	4	10	6	3	1	2	1	1	2		35

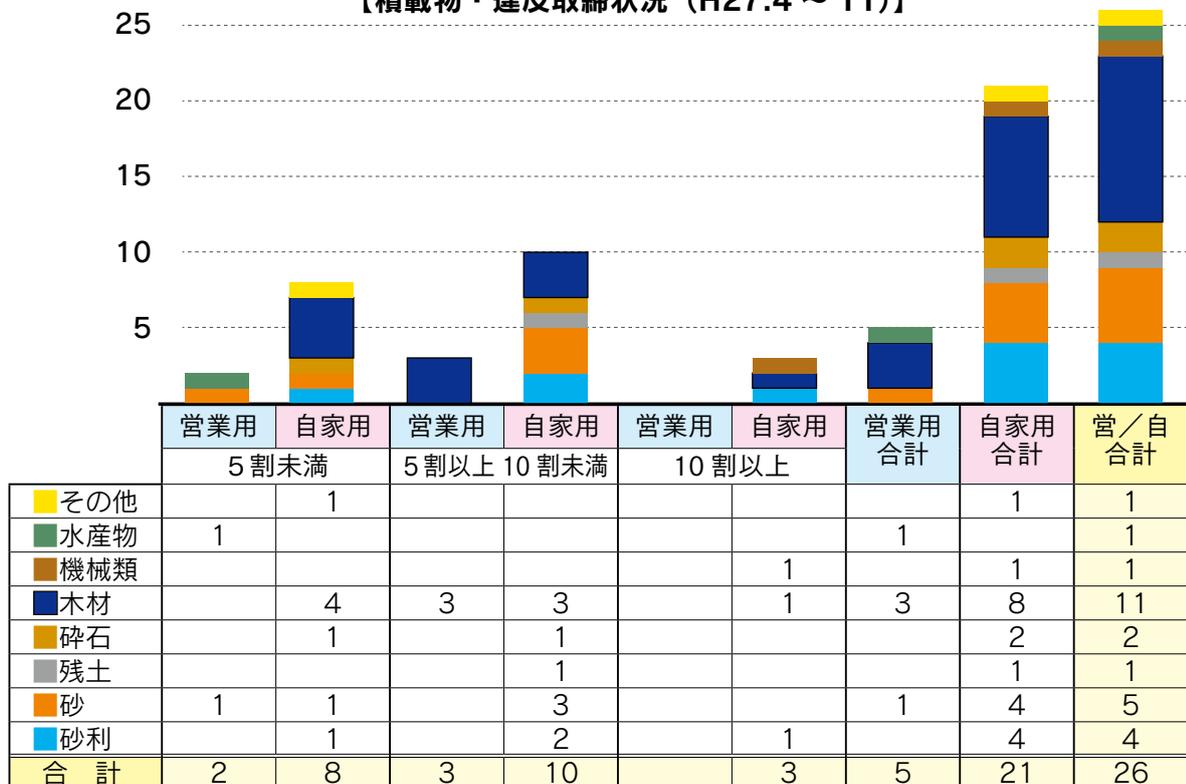
10割以上の違反が1件ありました。

また、通行指示書※が2件交付されております。

業種としては、林業2件。

※通行指示書交付とは、違反現場から目的地までの通行方法について指示をした場合。

【積載物・違反取締状況 (H27.4 ~ 11)】



積載物としては、木材の違反が多くなっております。

鹿児島県内における交通事故の発生状況

(平成27年11月末 資料:鹿児島県警察本部)

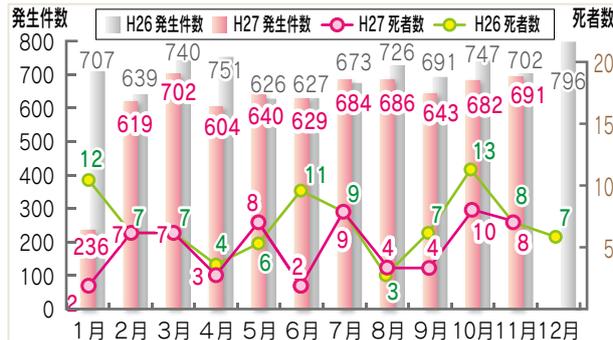
県内の交通事故状況

	発生件数	死者数	傷者数
平成27年	7,248	71	8,621
平成26年	7,629	87	8,920
増減	-381	-16	-299

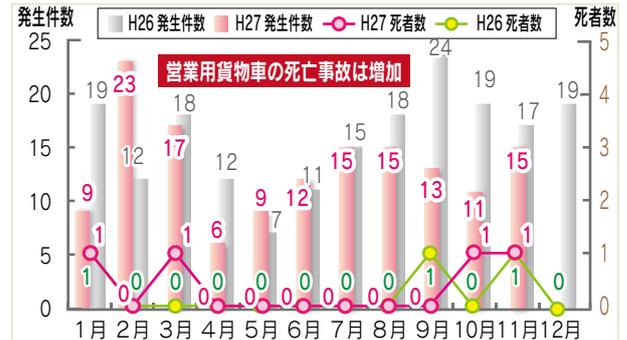
営業用貨物自動車の交通事故状況

	発生件数	死者数	傷者数
平成27年	145	4	174
平成26年	172	3	206
増減	-27	+1	-32

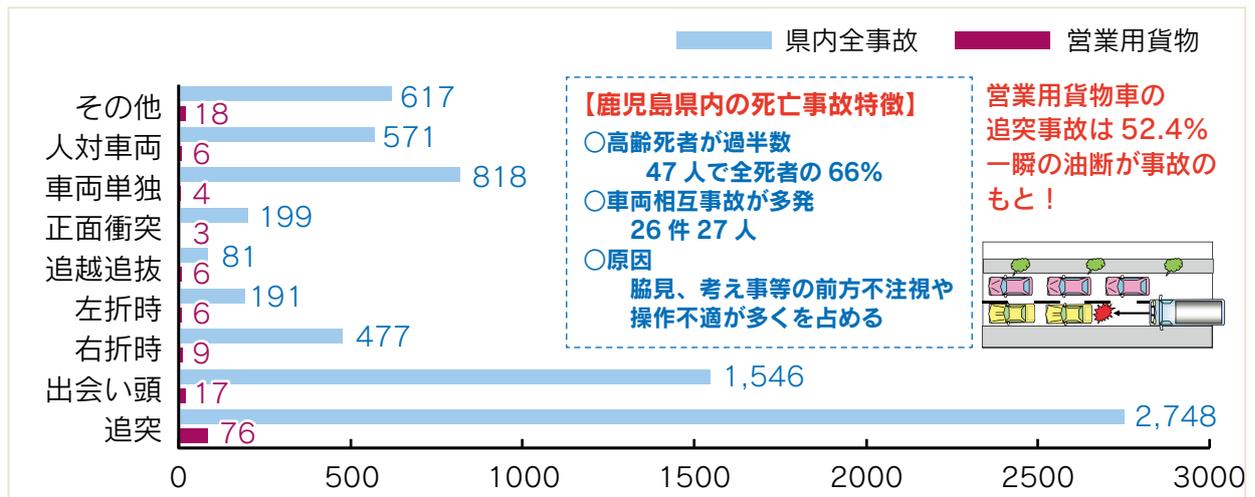
県内全交通事故月別状況



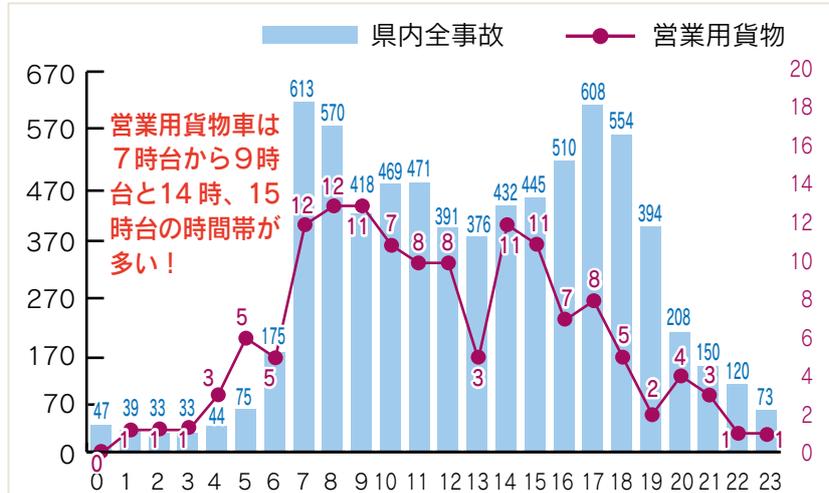
営業用貨物自動車月別発生状況



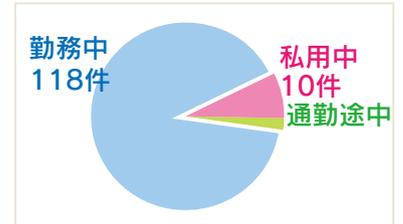
事故形態別(平成27年10月末現在)



時間別発生状況(平成27年10月末現在)



営業用貨物自動車の通行目的



平成27年横断歩行中死者の横断方向別



軽油価格調査報告

(平成27年10月分 資料:全日本トラック協会)

●単純集計表

地区:九州/県(沖縄除): 全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
	89.10	79.30	88.22

●元売別集計表

地区:九州/県(沖縄除): 全県

元売名	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
J X 日 鉱 日 石	89.41	81.17	90.13
出 光	90.31	78.79	92.38
昭 和 シ ェ ル	87.01	81.85	87.64
エクソンモービル		77.03	
キ グ ナ ス			
コ ス モ	88.75	84.40	84.80
そ の 他	89.53	77.25	85.40

●月間購入量別集計表

地区:九州/県(沖縄除): 全県

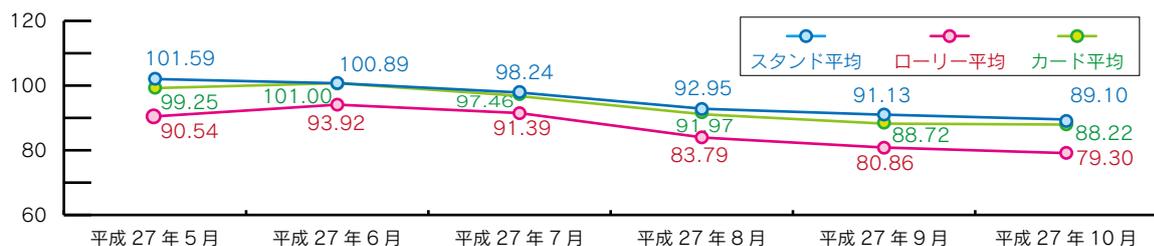
月額購入量	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30キロリットル未満	89.52	78.68	89.07
30~50キロリットル未満	80.42	81.71	83.93
50~100キロリットル未満		79.22	88.50
100キロリットル以上			84.70

●支払期限別集計表

地区:九州/県(沖縄除): 全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30日未満	90.57	81.21	87.47
30~60日未満	89.31	78.26	88.34
60日以上	87.50	79.93	91.00

●軽油価格推移表



※上記価格には消費税が含まれておりません。

- 1日(火) ・物流事業企業経営基盤強化等セミナー
- 2日(水) ・第49回九州経営法曹大会 in 鹿児島(～3日)
・整備管理者研修(バス、タクシー)
- 3日(木) ・全ト協第163回理事会
・全ト協全国トラック協会会長会議
・貨物自動車運送事業振興センター第73回評議員会
・全日本トラック事業政治連盟懇親会
- 4日(金) ・賀詞交歓会受付要領打ち合わせ会議
- 7日(月) ・鹿児島県中小企業団体中央会創立60周年記念式典並びに祝賀会
- 8日(火) ・第36回交通安全母の会鹿児島県大会
- 9日(水) ・物流出前講座(鹿屋農業高等学校)
- 10日(木) ・第2回トラック輸送における取引環境・改善協議会
・重量部会定例会
- 14日(月) ・平成27年度年末年始の輸送安全総点検期間中の事業場点検
- 15日(火) ・年末年始輸送安全総点検に関するトラックターミナル総点検
・平成27年度鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン協議会
- 16日(水) ・鹿児島南栄会第2回役員会
・九ト協平成27年度第5回専務理事業務連絡会議
- 17日(木) ・全ト協タンクトラック・高圧ガス部会「正副部会長・各県部会長合同会議」
・環境部会定例会
- 18日(金) ・平成27年度第3回薩摩南支部役員会
・南九州5県トラック協会事務局長及び担当者会議
・平成27年度第3回薩摩中央支部役員会
・平成27年度大隅北支部労働安全セミナー
・鳥インフルエンザ等県防疫対策会議
- 20日(日) ・平成27年原子力防災訓練に係る備蓄物資搬送訓練
- 21日(月) ・宮崎県・沖縄県・鹿児島県適正化事業指導員合同研修会
・宮ト協及び鹿ト協正副会長意見交換会
- 24日(木) ・第2回鹿児島県地域強靱化計画策定有識者会議
・適正化事業幹事会
- 28日(月) ・仕事納め式

1

月

Calendar

平成28年1月のトラック協会「行事予定」

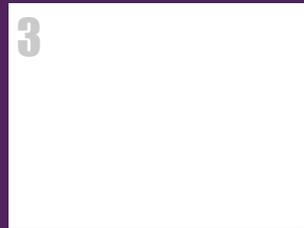
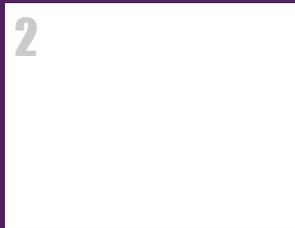
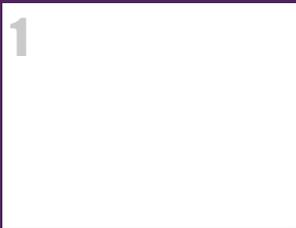
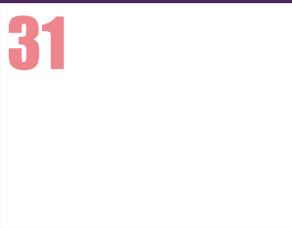
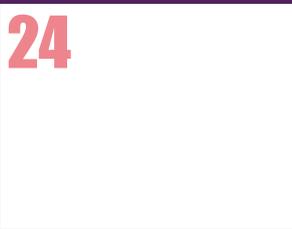
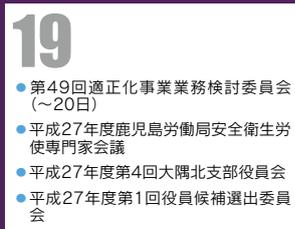
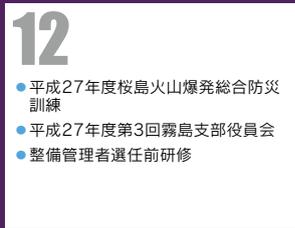
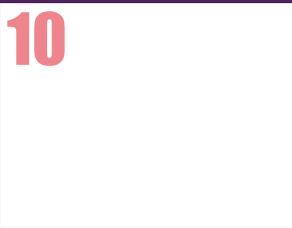
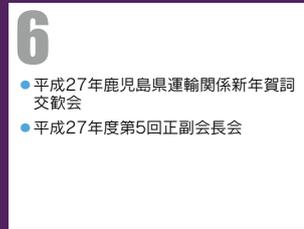
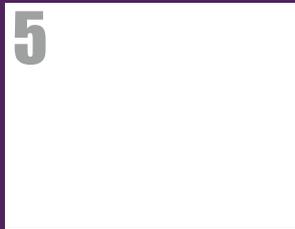
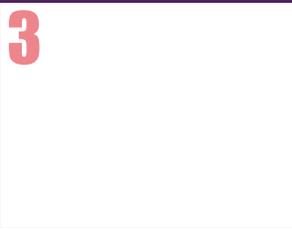
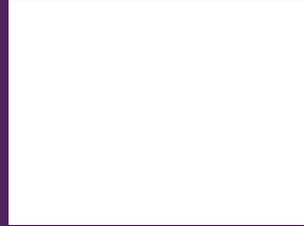
January.2016

sun

mon

tue

wed



thu

fri

sat

1

2

7

8

9

14

- 全ト協全国専務理事業務連絡会議

15

16

21

- 平成27年度物流セミナー
- 木材部会第2回定例会(労働安全セミナー)

22

- 初任運転者研修
- 物流効率化委員会視察研修(～23日)
- 平成27年度第5回薩摩北支部役員会

23

- 平成27年度運行管理者一般講習

28

- 原価意識向上実務セミナー
- 平成27年度適正化事業指導員全国研修「スキルアップ研修」(～29日)
- 平成27年度試験事務担当者研修会(～29日)

29

- 契約書締結等書面化推進セミナー

30

4

5

6



荷主等の事業場の担当者への安全衛生教育講習会

月 日：平成 27 年 11 月 26 日

場 所：鹿児島県トラック研修センター

■目的

平成 25 年 3 月に厚生労働省が策定した陸運事業者の実施事項、荷主等の実施事項を示した「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」に示された荷役災害防止を荷主等担当者に対して周知を図る

■受講者

22社32名

■講師

陸運労災防止協会 安全管理士 中尾 陽 氏

■講習会内容

- ・開会のあいさつ
陸上貨物運送事業労働
災害防止協会
鹿児島労働局
- ・講習
- ・質疑応答
- ・修了証授与



ストレスチェック制度施行への対応等メンタルヘルス対策のお願い

労働者のメンタルヘルス不調の未然防止（一次予防）等を目的とした「ストレスチェック制度」が平成 27 年 12 月 1 日より施行されました。

ストレスチェックの実施及びその結果に基づくメンタルヘルス対策の取組の推進についての当面の対応を陸災防協会が下記のとおり（抜粋）としましたので、労働災害の防止に努めてください。

記

◆「陸運と安全衛生」11月号より、連載「陸運事業者のためのメンタルヘルス対策」で、ストレスチェック実施への具体的な対応等の解説等が記載していますので、活用してください。（なお、連載は平成 28 年 2 月号まで掲載予定。）

◆「陸運と安全衛生」12月号の連載「陸運事業者のためのメンタルヘルス対策」第2回で、「ストレスチェック制度運用に関する企業（事業場）における実務」について参考となるQ & Aが紹介されているので活用されたい。なお、陸災防協会ホームページに、メンタルヘルスに関する関係資料をまとめた専用ページが設けられたので、活用してください。

○メンタルヘルス対策・過重労働対策ページURL

http://www.rikusai.or.jp/public/mental-health/mental-health_kajyuu-roudou_taisaku.htm

◆ストレスチェックの実施が努力義務である従業員 50 人未満の事業場がストレスチェックや面接指導を実施した場合、その費用の助成を受けられる制度があります。（同地域の事業場が合同で産業医を選任するなどの手続きが必要です。）

○お問合せ先：（独）労働者健康福祉機構 <http://www.rofuku.go.jp/>

◆ストレスチェックの実施方法については、おおよそ以下の方法があります。

①「ストレスチェック指針」及び「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」に基づき、事業場で調査票等を作成して実施する方法

②厚生労働省提供の「事業者向け「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」(<http://stresscheck.mhlw.go.jp/>)を利用して実施する方法

③ストレスチェック制度に対応した検査が実施可能な外部機関を利用して実施する方法

お役立ち 安全衛生情報を迅速にお届けします

陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）のメールマガジン

「陸災防通信」のご案内

お届けするメールマガジンの内容

- 陸災防の広報紙「陸運と安全衛生」を毎月 1 日にお届けします。陸災防会員事業場の安全衛生活動内容の紹介、安全管理士の安全コラム、災害事例などを掲載しています。
- 安全と健康に関する様々な情報（厚生労働省情報など）をタイムリーにお届けします。
- 講習会、講座の開催を優先してご案内します。
- 労働災害防止の各種ご質問にお答えします。

このメール配信サービスは、陸災防の広報紙「陸運と安全衛生」をお届けするとともに、最新の安全衛生情報などを電子メールで配信するものです。登録料、購読料などは不要です。
ご登録いただいていない皆さん、安全衛生情報源としてぜひご活用ください。



お問合せ先

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 本部 総務部 広報課
〒108-0014 東京都港区芝 5-35-1 TEL 03-3455-3857 FAX 03-3453-7561



平成27年度年末・年始労働災害防止強調運動

陸上貨物運送事業労働災害防止協会スローガン

《安全は荷主と協力 みんなで実行》

【実施期間：平成27年12月1日～平成28年1月31日】

●趣 旨

陸災防においては、「陸上貨物運送事業労働災害防止計画」（計画期間平成25年度～29年度）に基づき、積極的な安全衛生活動を展開しているところである。本年の陸運業における労働災害は、次のとおり減少しているものの、計画の折り返し年度にあたって目標の達成に向け、一層の労働災害防止対策の推進が求められている。

① 死亡者数は、前年同期比11.8%と減少

② 昨年まで5年連続で増加した死傷者数は、前年同期に比べ2.0%の減少加している

特に、死傷者数の減少を図るため、同災害の約7割を占める荷役災害の防止を重点としつつ、荷役運搬関係の作業における労働災害防止対策に関しては「陸上関東運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（以下「荷役ガイドライン」という。）を踏まえ、「荷役災害防止の担当者に対する安全衛生教育講習会」を実施する等、その周知・普及に向け取り組んでいるところである。

なお、陸運業における荷役運搬作業については、荷主先等で作業を行う場合が多く、荷主、配送業者、元請け業者等（以下「荷主等」という。）が提供する荷の積卸し現場の作業環境や荷主等が示す発注条件の影響を受けやすいことから、荷役ガイドラインでも示されているとおり、荷主等及び荷主関係団体とも密接な連帯協力を図り、労働災害防止対策を推進していくことが必要である。

また、厚生労働省・各労働災害防止団体主唱の「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」並びに平成27年3月に厚生労働省労働基準局安全衛生部長より要請があった「交通労働災害防止対策の推進にかかる要請について」を踏まえた取組みも求められている。

陸運業の労働災害防止対策を推進するに当たっては、事業場における労働安全衛生関係法令の遵守はもとより、職場の安全衛生管理体制を確立し、経営者と従業員が一致協力して自主的な安全衛生活動を継続的・効果的に行っていくことが何より重要であることから、職場に潜む危険の芽を事前に摘み取ってリスクの低減を図り、安全度の高い職場の実現を目指す取組である危険予知活動（KYTなど）、リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステム等の取組の推進を図っていく必要がある。

●会員事業場の実施事項

イ 経営トップは、労働災害防止のためにその所信を明らかにするとともに、自らが職場の安全パトロール等を行い、労働災害防止について従業員への呼びかけを行う。

ロ 安全管理者、安全衛生推進者等は、本運動期間中「職場の安全衛生自主点検表」（かごしまトラック情報12月号41ページ・HP）により職場の安全衛生点検を行う。

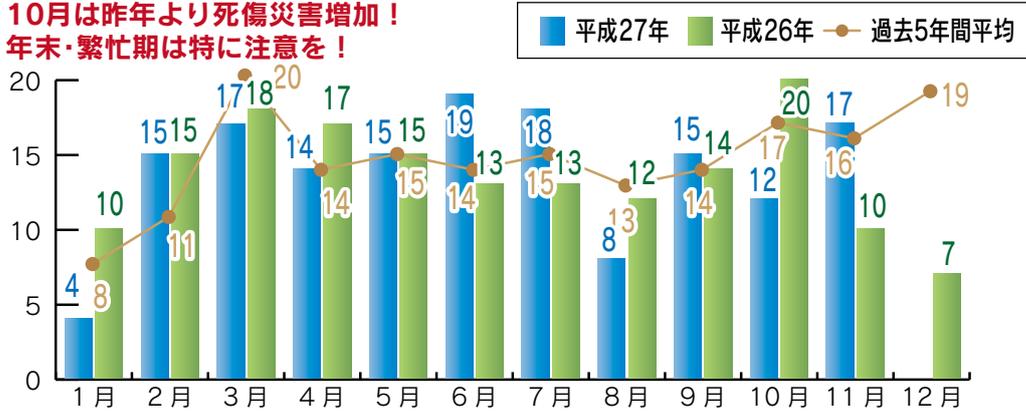
ハ 安全旗の掲揚、安全ポスター・のぼり等の掲示を行う。

ニ 「荷役ガイドライン」に基づき、荷主等の協力を得て積卸し作業の内容の確認・把握を行い、荷役作業に伴う安全上の確認事項をあらかじめ運転手に提供できるように、荷主等との「運送契約時に必要な連絡調整に係る事項」の文書による取決めや「安全作業連絡書」の活用を図る。

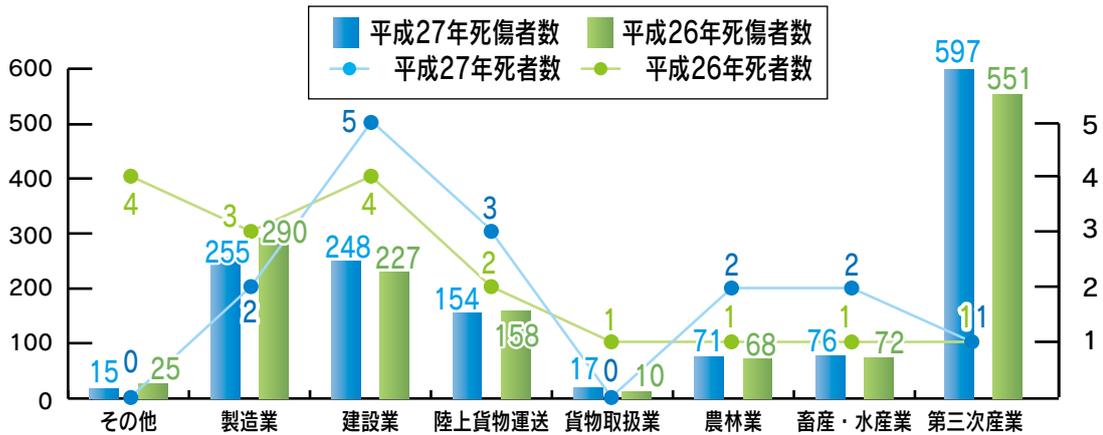
鹿児島県内における労働災害の発生状況(11月末現在)

県内の陸上貨物月別発生状況

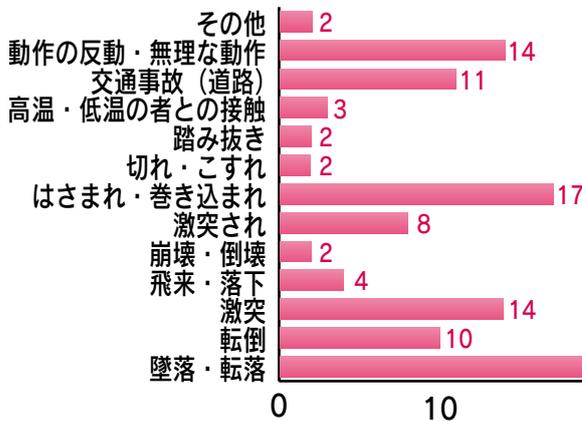
10月は昨年より死傷災害増加！
年末・繁忙期は特に注意を！



県内の業種別災害発生状況



県内の死傷災害形態別発生状況



陸上貨物運送事業は、墜落・転落が最も多い！

陸上貨物運送事業	順位	災害形態	発生数	割合
1	墜落・転落	53	34.4%	
2	はさまれ・巻き込まれ	18	11.7%	
3	激突	16	10.4%	
4	動作の反動・無理な動作	16	10.4%	
5	転倒	14	9.1%	

Community Plaza

コミュニティ広場
[みんなのお知らせ掲示板]



第47回 全国トラックドライバー・コンテスト 下村選手の感想

全日本トラック協会主催の標記コンテストが 10 月 24 日 (土) から 25 日 (日) の 2 日間にわたり、茨城県ひたちなき市の自動車安全運転センター中央研修所で開催されました。

当県からは、甫立裕樹選手 (4 トン部門・日本通運(株)鹿児島航空支店)、下村智子選手 (女性部門・日本郵便輸送(株)鹿児島営業所) の 2 名が出場しました。

女性部門で出場し、惜しくも入賞を逸した下村選手の感想を掲載します。また、見事 2 位入賞された甫立選手の感想は、12 月号をご覧ください。

下村智子選手の感想

私はドライバー歴 20 年近く、無事故で運転だけは少しの自信を持っていました。

日頃から、事故、クレームがないように心掛けて頑張ってきたのですが、今回全国ドライバー・コンテストに出場させていただき、日頃からやってきたことが真逆だったり、基本を忘れていたことに痛感、緊張の連続で普段から出来ていたことさえ出来なくて歯痒い思いもしました。

安全運転、エコドライブ、点検、交通法規と、まだまだ自分が出来ていなかったことや、知らなかったことが多かったことも学びました。

今回のドライバー・コンテストで学んだこと、気づかされたことをこれから先の運転や、仕事に生かせる様に、安全第一で頑張っていきたいと思います。



COMMUNITY
PLAZA編集部

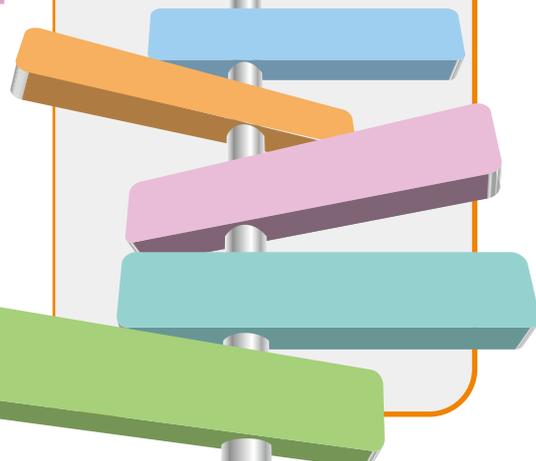
家族のネタや
自慢したいペットなど
写真付きでどしどし
お送り下さい。

送り先

E-mail アドレス kentora@kta.jp まで
住所・営業所名・氏名(ペンネーム可)

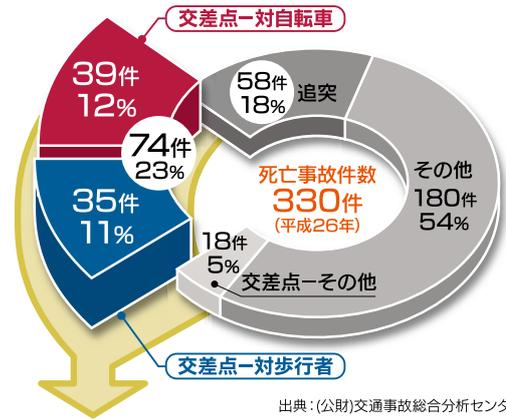
Run
for
YOU
Kagoshima
TRUCKing
Association

2016 1
WINTER
No.438
かごしま
トラック情報
Kagoshima truck information



点呼時などに 交差点事故の 実態を再確認!!

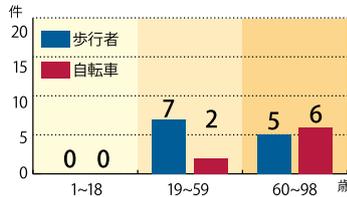
事業用トラックが第1当事者となる交差点における
対歩行者及び自転車の死亡事故(74件)は、
追突事故(58件)の**1.3倍**



直進

直進時の死亡事故

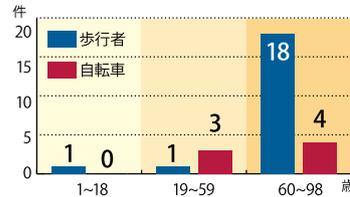
高齢者が過半数



右折時の死亡事故

7割が対歩行者、特に高齢者が多い

右折



左折

左折時の死亡事故

すべて大型車、9割が対自転車



●ご回覧をお願いします。



トラックは、あなた。

あなたという人に届けるために
がんばっている、
それがトラックです。

～協会からのメッセージ～

船は港、列車は駅、飛行機も空港という「場所」に運ぶことはできるでしょう。しかしトラックは、「ひと」に届ける事ができる、唯一の存在なのです。運ぶことと届けることは、似ているようで少しちがう。あなたという人に届けるために困難を乗り越えてがんばっている。それがトラックです。

発行／公益社団法人 鹿児島県トラック協会
鹿児島市谷山港二丁目4-15
〒891-0131

☎099-261-1167

URL / <http://www.kta.jp>

E-mail / kentora@kta.jp

印刷 / 洵上印刷株式会社
